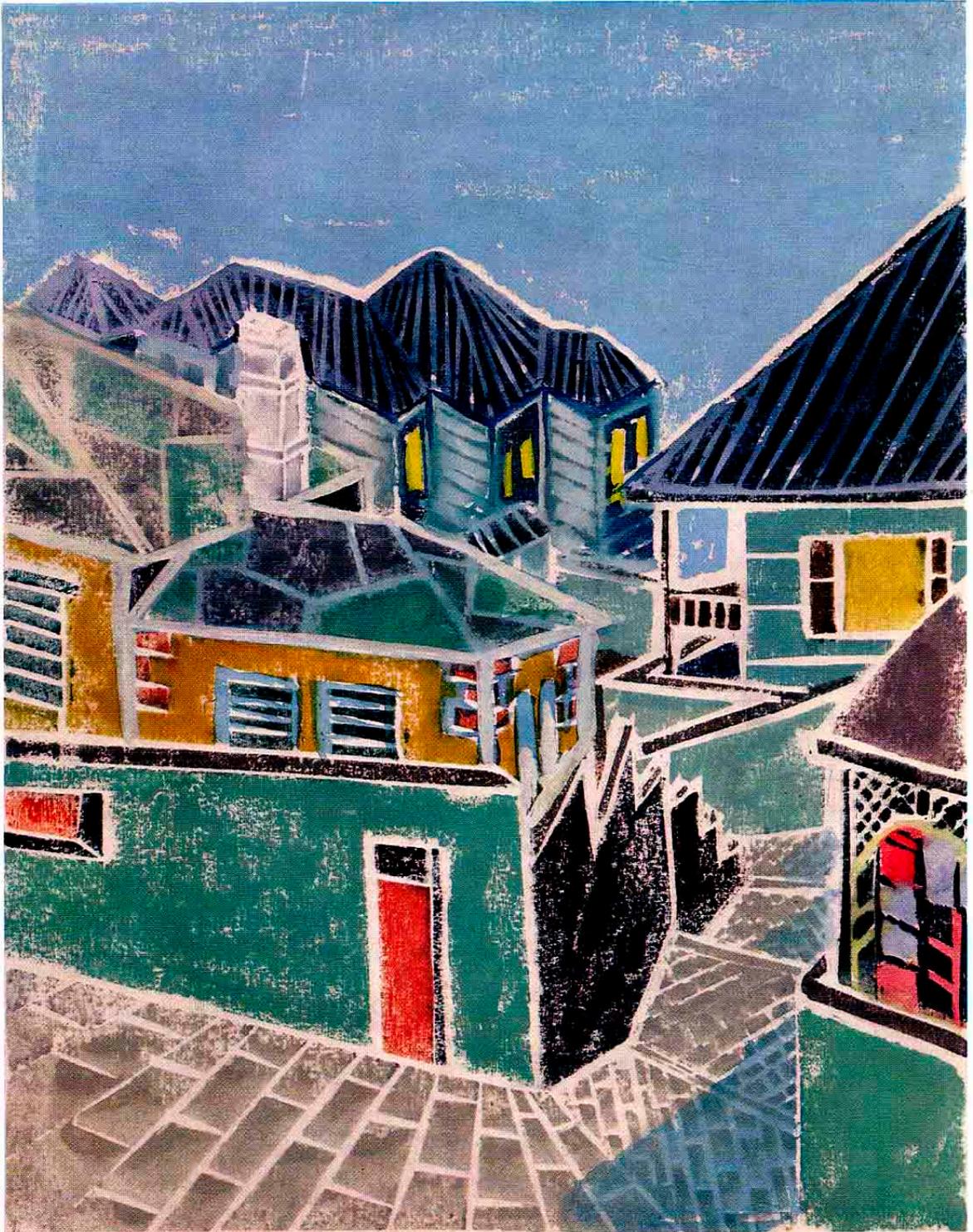


# 聖徒の道

11

VOL. 11 No. 11



あなたも宣教師!!

回復された神の教会を  
より雄弁に紹介するために

モルモン教の繪入説明

# モルモン物語



△予言者のことば▽

教育はなぜ必要か ..... 2

伝道部長メッセージ ..... 4

すべての会員は宣教師です ..... 5

系図のページ ..... 6

伝道開始一週年を迎える

五つのグループ ..... 8

証詞

建築宣教師に召されて ..... 11

地方部宣教師 ..... 13

伝道部ニュース ..... 24

MIAリーダー ..... 25

△予言者のことば▽

## 教育はなぜ必要か

デビッド・O・マッケイ大管長



教会の根本的な教えの一つは救いは知識に依存しているということであり、何となれば、人は無智にして救われること不可能なり。(教義と聖約一三二・六)だからであります。また同様に、もしある人ありて、精励従順によりこの世に於て他の人よりも一層勝れたる知識と英智とを得ば、未来の世に於てそれだけ利を得べし。(教義と聖約一三〇・一九)であるからであります。

ただ今は若い人たちにとって、当然進学すべき上級学校への準備の季節であります。

末日聖徒イエス・キリスト教会は、教育のために立っております。その組織の目的そのものが、人々のあいだに真理を弘めることにあります。教会の会員たちは、勉学と信仰と祈りをもって学問を身につけるようにまた何にしても徳高きこと、好ましきこと、よき聞えあること、あるいは褒むべきことあればたずねもとめるようにすすめられております。この真理を求めるに当って彼らは狭い限られた教理、または信条に制限されることなく、自由に無限の世界に達するのであります。

知識を得ることとそれを適用することとは別であります。

知恵は、知識を、高貴な神のような人格に進歩させるように正しく適用することとあります。人は歴史および数学の豊富な知識を持つるかも知れません。彼

は生理学、生物学または天文学の権威者になれるかも知れません。彼は総合および自然科学を含めて、発見された如何なる物でも、すべてを知るかも知れません。けれども彼がもしもこの知識をもって、隣人に正しく対処し、徳と誠実さを施したいと思う気高い精神を持たなかったら、彼は真に教育された人ではありません。

教育の目的は思想を進歩させて人間関係を改善することにあります。大学は、辞書でもなく薬局でもなくまた百貨店でもありません。それは知識の百貨店以上のものでありまた学者の社会以上のものでもあります。大学生活は本質的によく思索し生活に備えることであります。教育の目的は学生をして、その生涯にわたって、また永遠にさえ続くところの彼の幸福に資するであろう彼の内に在る知的資源を發展させることにあります。その目的はまた、自制力を伸ばして学生が決して怠惰または虚弱のとりことなることなく活発な男らしさ、美しい女らしさを発達させることにあります。まことに、国家の最大なる資産は汚れない男性と純潔な女性であります。

では真の教育とは何でしょうか？

それは真理を愛することに目覚め、責任感を正しく意識し、人生の大いなる目的に魂の目を開くことであります。それは観念論として多くの言葉を並べることでなく、また人生の原則としての単なる

格言の集積でもありません。それは人に自分自身のために善を愛することを教えるのではなく、善そのもののために善を愛し、心がそうであるから行為も道徳的となり、神を恐れる気持ちからでなく、神の完全な人格を喜ぶ心から最高に神を愛し神に仕えることを教えるものであります。

人格こそ真の教育の目的であります。

そして科学と歴史と文学は、この望む目的を完成するために用いる手段に過ぎないのであります。人格は偶然の結果ではありません。それは終始一貫、正しい考え、正しい行ないを続ける結果、形成されるものであります。

真の教育は男女を単によい数学者、たんのうな語学者、ぞうけい深い科学者、あるいはさんぜんたる文学者にしたてようとするだけでなく、同時に正直な徳高い、寛容な兄弟愛に溢れているような人を、つくりあげようとするものであります。それは真理、正義、知恵、慈悲および自制を人生成功のため、もつとも必要なものとして重んずるような男女を育成しようとするものであります。

私は真の教育を受けたすべての人々が個人的にまた団体として光を放って未だに暗黒に包まれている世の中の無知、疑惑、憎悪、頑迷、貪欲などの黒幕を、だんだんと、うすくして行く力を見ます。

教育は投資であって出費ではありません。それはこの世限りでなく永遠にわた

っての投資であります。

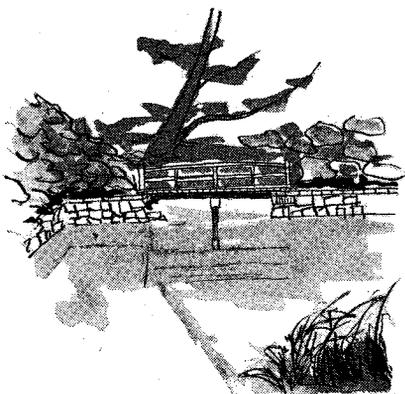
。およそ、われらのこの世に於て達する英智の一切は、何にてもよみがえりのとさわれらと共によみがえるべし。

(教義と聖約一三〇・一八)

人々の生涯は私たちに於て、有益な幸福な生活かそれとも利己的なあわれな生活かどちらかを示す道路標識となります。

ですから私たちは、実生活に於てもまた書物に於ても最上の高貴な同僚を求めることが大切であります。

教会の若い、学生お友だちの皆さん、あなたがたが恵まれた、学校あるいは大学であなたの教育を求めるとき、真の教育の最高の目的を選んで自分のものとして下さい。



## △伝道部長メッセージ▽



アドニー・Y・小松

### 愛する兄弟姉妹の皆さん

最近フィリップスのマニラで開かれた伝道部長セミナーに於てヒンクリー使徒は、各伝道部に於ける伝道の仕事の重要性について強調されました。彼は私たちの各支部に於ける求道者、改宗者をよく歓迎するため、宣教師と会員が緊密に協力して働らぐべきだと言いました。私たちは皆、すべての会員は宣教師であると言われた愛するデビッド・O・マッケイ大管長の勧告に注意すべきであります。

今年始めの地方部大会で、この主題は皆さんに強調されました。私たちの内での何人の人がこの指示に従って黄金の質問、あなたはモルモン教会に就て御存じですか？  
あなたはもっと知りたいと思いませんか？  
をしているでしょうか？  
私たち一人一人が、これらの二つの質問を私たちの家族に親戚に、友人に、隣

人に、同僚にまた毎日接触する人々に、することによって、私たちの宣教師のプログラムを助けることができるのであります。

私たちは私たちの教会について、もっと知りたいし、まじめに望んでいる人たちを、フル・タイム宣教師に紹介すべきであります。

さらにこの努力に助けとなることは、最近私たちは日本語版「モルモン物語」を入手したことであります。それはジョセフ・スミス最初の示現から今日に至るまでのモルモン教の絵入り説明書であります。私は、私たちがこの書物を用いることによって私たちの肉親とお友だちに、モルモンの話を、よりくわしくすることができるとを保証します。この書物は私たちの教会に就いて関心を持っている私たちの肉親やお友だちに、道具として用いることができます。この書物は伝道本部で普通の値段ですぐ買えるようになります。

この問題についてチャーチ・ニュースの社説にも、すべての会員は宣教師であると載っていることを御紹介致します。

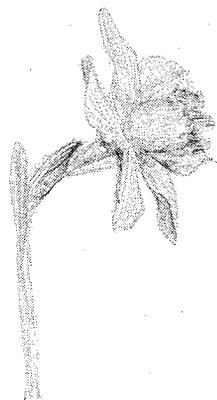
伝道部長セミナーに於て、東洋地域の諸伝道部は全教会翻訳、印刷、配布計画の一部となることが発表されました。このことは私たちが教会の最新の指示を日本語で受け全世界を通じて教会の他地域と併行して進めることを意味しており、この計画は一九六八年の早期に始め

られ一九六八年の九月までには私たちは現在施行の翻訳された指示とテキストを持てるようになるはずであります。

この新しい翻訳、印刷、配布本部は、東京に設けられて北部極東伝道部、韓国伝道部、南部極東伝道部に奉仕するであります。

渡辺副伝道部長は管理監督会によって、この仕事を監督調整するように任用されました。

主は誠にこの地日本を祝福しておられます。私たちは主の戒めを守り、福音の証に従って生活しよ模範となつて、この祝福にふさわしい者とならうではありませんか。



## すべての会員は宣教師です

チャーチ・ニューズより

主がこの福音の新しい神権時代を開かれたとき、彼は全世界に向って特に新しい教会の会員に向って挑戦されました。

世界に対する挑戦は、聴け、いと高きところに住みて、すべての人を見まもる者の声は告ぐ、であります。

彼の教会の会員に対する挑戦は、全人類あらゆる国民、部族、国語、民族に、福音を宣べ伝えることでありました。

主がもたらしたのは奇しきみわざでありました。それはかくされるべきものでなく、全世界にひろめられねばならないものであります。それは屋上で、すべての人に語られなければならないものであります。

主が教会の会員にこの彼らの大きな責任について言われました。

見よ、われは民に証し民を警めんため汝らを遣わせり。されば、その警めを受けしことあるすべての人はその隣人を警むる責任あり。故に人に言逃れあることなし。罪は人々自らの頭の上にあり、

主がその民に与えたのは誠に大きな責任でありました。警めを受けたすべての人はその隣人を警める責任がある、ので

あります。

警めを受けたことのあるすべての教会の会員とは福音を聴いて受入れた人であります。そして各会員が、隣人を警める、神の宣告の下にあるのです。ではどのようにしてこれを遂行しますか？そこには多くの道があります。

曾て主は私たちに人々の前に彼らが私たちの光を輝かせと告げられました。それは福音を説くもっとも大切な方法で私たちのよい行為自体をもって語らせるのであります。

若しも教会の会員が福音に生きさせれば彼の生活は、彼を見るすべての人をひきつける輝く模範となるのであります。そして彼らはそのような生活の力をたずねずにはおれなくなるでしょう。

これは私たちの軍人の間に多く示されたところであります。彼らの潔い生活、彼らの夜の祈り、他の多くの軍人が耽っている、世俗的なこと、に染まらない姿は彼らの友の注目を惹かずにはおられませんでした。その中で心の正直な者は、何故？ どうして？ 何であろうか？

と観察せずにはおられずその結果、多数の人が改宗して教会に入って来たのであります。

私たちが、隣人を警める、もう一つの道は、私たち自身の家庭で私たちがそのように生活し、私たちの子供たちに福音を教え彼らが成長するにおよんで完全に改宗することであります。

私たちが、隣人を警める、もう一つの道は、私たち自身の家庭で私たちがそのように生活し、私たちの子供たちに福音を教え彼らが成長するにおよんで完全に改宗することであります。

私たち自身の家庭よりもよい伝道地はないのであります。私たち自身の子供たち以上によい、コンタクト（接触）はないのであります。

もう一つの道は、教会の組織を効果的に建設的なものとし、王国建設の目的達成に効果あるようにすることであります。私たちがより忠実に、効果的に上手に働らくときに、私たちは組織に入ってくる人に、また外での観察者により多くの影響を与えることができるのであります。

さらにもっとも効果的な方法がありまます。それは文字通り、私たちの隣人を警める、ことで私たちの隣家、職場、学校、遊び友、すべての教会の会員でない知己または友人であります。若しも彼らが私たちがよい友であるなら、この救いの福音を宣べ伝えるによい人たちであります。

ましよう。

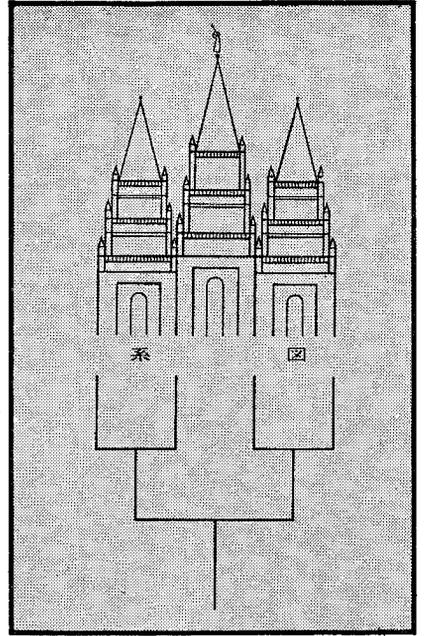
私たちの最上の友が救われなくてよいでしょうか？ そして彼らは福音なくして救われるでしょうか？ 若しも彼らが福音について無知であったら福音によって救われるでしょうか？ そして若しも彼らが無知であるなら、私たち以上に誰が彼らの扉を開けてやれるでしょうか？

福音の会話を始めることは容易なことではありません。誰でも私たちの友だちに、彼らが私たちの教会について知っているかどうかたずねることができません。

彼らが多少知っていようと私たちが次の質問、あなたはもっと知りたいですか、をすることができません。

若しも彼らが望まないなら私たちはそれ以上彼らを当惑させる必要はないのであります。若しも彼らもっと学びたいなら私たちは容易に彼らを助けるように約束できるのです。

数千の末日聖徒は、これらの質問をしてより多く学びたい人を私たちの宣教師に合わせているのであります。それはすべての人がその成行きを知り宣教師の助けが得られるように前以て準備、計画されるのであります。小さなグループで、このような討論をすることは福音のもっとも建設的な方法であります。すべての人がそれに加わることができません。あなたは如何ですか？



## 日本人の先祖を思うスミス姉妹

渡部 正雄

十六年程前に新潟県の三条支部（世界一のレスラー馬場兄弟の出身支部）に伝道し現在ロスアンゼルスのあるワールド部の監督をしておられるスミス兄弟のお母さん、ロバート・C・スミス夫人は病床にありながら、息子さんが曾て日本の三条支部で伝道中下宿してお世話になった、新田まささんが亡くなられたことを聞いてから新田さん一家が会員でなかったにもかかわらず先に亡くなった、まささんの御主人とまささんのために神殿の仕事をしたいと思って、再三、ただ一人の養女はるさんに便りしたけれども何の連絡もなく遂に昨年末から私に頼んで来られ、自分は病床にある身でいつ天国に召されるかも知れないの

で早くしてあげねばならないと心から頼まれますので私も一生懸命にはるさんに手紙してそのなかをとりもつてあげましたところ本年夏、御主人とまささんの神殿の儀式が全部終ってシールされたファミリーグループシートを感激の喜びの手紙と共に送って来られ私は早速それをはるさんに送ってあげたのであります。スミス姉妹はさらにはるさんに渡米して私の養子にならないかとすすめて来たのですが、はるさんは、英語を話せない関係もあり、その御厚意に涙の感謝をしながら辞退されたのであります。心から日本人を愛し、日本人の先祖を思われるスミス姉妹の暖いお手紙の中から二、三抜萃して皆さんに読んでいただ

きたいと思えます。

一九六六年十二月二日付

。新田まささんと御主人及び息子さん（何れも死亡）の身分証明を御送付下さいましてほんとに有難うございました。私はただ今家族の記録を作成して系図協会の方へ送りましたが、系図協会の方では新田まささんの養女の新田はるさんの許可がなければプロセスできないとのこととです。私は彼女に二度、その許可をお願いしたのですが何の返事もありません。私はこのことをもう引きのばしたくないのです。何故なら私は病床にあり、また何回となく、狭心症を起しているのです。新田まささんが私によってこの仕事がなされるように望んでおられる以上、私はほんとうに天のお父様と彼女に対して強く責任を感じるのであります。私は、ほんとうに心からこの仕事があるように願っております。

私はあなたの助けに心から感謝し、この仕事が彼らのために完成されたとき、新田まささんがどんなに喜ばれるかを、はっきり知っております。

一九六六年十二月三十一日付

愛する渡部兄弟、お手紙をほんとうにありがたうございました。あなたの助けに対して私がどんなに喜んでるか書きあらわすことはできません。

はるさんが会員になっているかどうか聞いて下さいませんか？（会員でない）どうぞ彼女に私が彼女を非常に愛して

いることを伝えて下さい。そして、できたら手紙を下されるように頼んで下さい。

私はこの神殿の仕事を早く成し終えなければならぬのです。新田まささんがもう二年間も待っているのに、私がこの仕事ができないでおることが、私の心に非常に重荷となっているのです。

私は心臓が悪くその他の病気もあってこの世にいつまで生き永らえられるかわからないので出来る限り早く、この仕事をしてしまいたいのです。

私はあなたとまたすべての日本人を心から愛しております。そして私の出来る限りお手伝いしたいと願っております。

私が神殿の中で何か皆さんのためにお手伝いできることがありますたら、どうぞ知らせて下さい。

一九六七年一月十五日

愛する渡部兄弟

誠に申し訳ありませんが私はあなたからの手紙を系図協会に送りましたら、系図協会から、これに同封してあるような手紙が戻って来たのであります。

どうぞ新田はるさんから私が新田まささんのために神殿でこの仕事をしてよしいという個人的な署名入りの証明書をとって下さい。あなたの御協力に心から感謝致します。

彼女が亡くなってから、もう二年もたちますので、私はこの仕事を、すませねばならないと非常に気をもんでおります。もしはるさんの署名入りの手紙を受け



# おめでとう一周年記念

## 伝道開始一周年を迎える

### 五つの支部

## 福島

福島長老たちより

堀江兄弟

宣教師は約十カ月前に福島に来ました  
がそれから十二人のバプテスマに恵まれ  
また十年前にここに来て不活発となっ  
ていた一人の会員を活性化することがで  
きました。男六人女

私たちが夫婦の間には子供が一人もおら  
ず、私たちが生きている目的は何であろ  
うかと疑問に思っておりましたが、今や  
私たちは生活の中心が教会であることを  
発見しました。

七人の十三人で、二  
夫婦、二人の夫（妻  
はまだ会員でない）  
一人の未亡人と二人  
の独身者二十六才と  
十九才、十八才から  
二十四才までの未婚  
の女性四名でありま  
す。この支部で働ら  
くことは非常に靈感  
され祝福されること  
は言うまでもありま  
せん。会員たちの急  
速な成長を見、彼ら  
の証と改宗談を聞く  
ことは私たち自身の  
福音の真実なること  
についての確信を強  
めます。今この福島  
の会員たちから、私  
たちが見たり聞いた  
りした靈感される証  
の若干をお分ちした

大河内姉妹は六十年間、コーヒー、お  
茶、アルコール、酒、煙草を飲まなかつ  
たことが大変、共鳴されました。  
夫であり父である武田兄弟は第三回目  
のレッスンで始めて知恵の言葉を学び、  
何の異論もなく、それを守ることを約束  
しました。（彼は日に三箱、シガレット  
を吸っていました）その後彼は一本も吸  
いません。

教会に入る前に堀江姉妹はお茶の先生  
でありましたが彼女は知恵の言葉を守っ  
て、お茶を断念しました。

早川兄弟は二時間半かかるところに住  
んでいるけれどもほとんど日曜学校に欠  
席することなく、彼は先週、今度、自動  
車を買ったのでMIAに出席できると私  
たちに告げました。

これらの経験が、私たちがこの福島で  
喜んで働らいている理由の一つでありま  
す。

北地方の福島、九州東  
地方の北九州、長崎、熊  
本と四国地方の高松に回  
復された福音を宣べ伝え  
るために宣教師が派遣さ  
れてから早くも一年を迎  
えようとしています。長  
い間教会は、まだ福音を  
知らない沢山の地に宣教  
師を遣すために準備し、  
新しく五つの支部を創設  
するべく、多くの宣教師  
が開拓者として献身的な  
伝道を行なってきまし  
た。今年を迎えるとき  
に新しい支部として発展  
しつつある五つのグルー  
プを御紹介します。  
(高松だけ今年の五月か  
らです)



## 北九州

北九州長老たちより

北九州の教会は急速に発展しており、現在ここには八人の日本人の聖徒がこの市に学んでいるニューヨークからの交換学生である一人の会員がおります。一人の長老を含めて四人の神権者がおります。二、三週間で五番目の若い兄弟が神権を受けます。北九州地区は他支部から転入してくる会員に恵まれ、特に最近伝道を終えられた石川兄弟が入ってきました。

私たちの日曜学校の平均出席数は約十五人で会員自身がほとんどの指導的また教師の地位を占めております。私たちは毎日曜神権会をも開いております。木曜日には私たちは英語のクラスとMIAを開いておりますが英語には約四十名、MIAには十五名ほど出席します。

私たちの主な伝道方法は戸別訪問、街頭接触および英語のクラスであります。北九州地区はあまり範囲が広すぎるので私たちの伝道は効果的にただ一区に限ら



れております。(都市の一方の端から他方の端まで車で二時間かかります。)

私たちは多くのチラシを配り、また十人のライオンズクラブおよびロータリークラブに、幸福の探求のフィルムを見せて、教会の名はこの市によく知られるようになりました。

市街は大きく伝道はなかなか容易ではありませんが、ここには多数の素晴らしい人々があり、主の御業は前進しております。



## 長崎

長崎長老たちより

この地で福音が説かれてわずかの間に主は実にそのみたまをこの素晴らしい市の人々の上に注がれました。この市は、港を中心にほとんどの家が周囲の山への坂道に建てられております。

一九六七年のお正月に、マッキューム長老と磯村長老が始めて知り合った大平兄弟がバプテスマを受け、その後支部の中心となっております。その後間もなく

主は伝道部でもっとも素晴らしい家族を恵んで下さいました。竜山一家が改宗して活発な活動を続けております。その後さらに三人の改宗者がバプテスマを受けました。長崎には現在二人の執事と一人の教師と一人の長老がおります。

ここで働いている長老たちは、すでに基礎は築かれたので今やこの基礎の上に、建物を建て始めるのだという考えを持っております。私たちは伝道的手段として会員を利用することに決めました。私たちの目標は多くの人々を教会に連れて来て、福音を實行している会員に逢わせることでもあります。彼らが実際に見るところから福音がひろがって行くでしょう。このようにして主は過去三週間に、その出席者が十六人から十八人、二十一人、遂に三十二人に達するまでに祝福されたのであります。現在四人のバプテスマを受ける人がおり、また目標に近づいている多くの求道者がおります。家族もまた来始め、近く二、三またはそれ以上が加入する見こみであります。

私たちここで働らく特権に恵まれている者たちはこの長崎市で教会が成長して行く姿を見る機会に感謝し、また福音がこの地の人々の生活に浸透して行く祝福された状態を見るチャンスにも感謝しております。

## 熊本

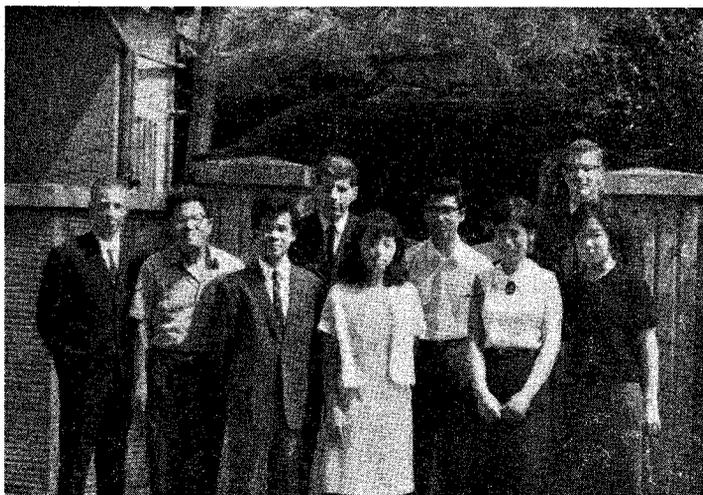
熊本長老たちより

今日熊本支部は誠によい活動状態にあります。十三人の会員の内三人が神権者であります。一人の長老と二人の執事であります。毎日曜、宣教師を除いて、十五人から二十人の出席者がおります。支部の指導権はまだ宣教師にあるとはいふものの、すべての集会は会員たちによ

って司会されています。彼らは日曜学校、神権会で教え、また集会の記録をと

り、オルガンを伴奏し歌の指揮をしています。最近私たちは騒音と不便なため、自動車販売所の二階から、街の中心の冷暖房付き会館に集会所を移転しました。新しい建物は非常によく整備されており、私たちが集会を聞くために美しい場所を提供しております。

熊本の人々は大変よい人たちです。会員はまだ若く少いですが非常に素晴らしい兄弟姉妹たちです。私たちはこの市で教会が成長することを確信しております。



## 高松

高松長老たちより

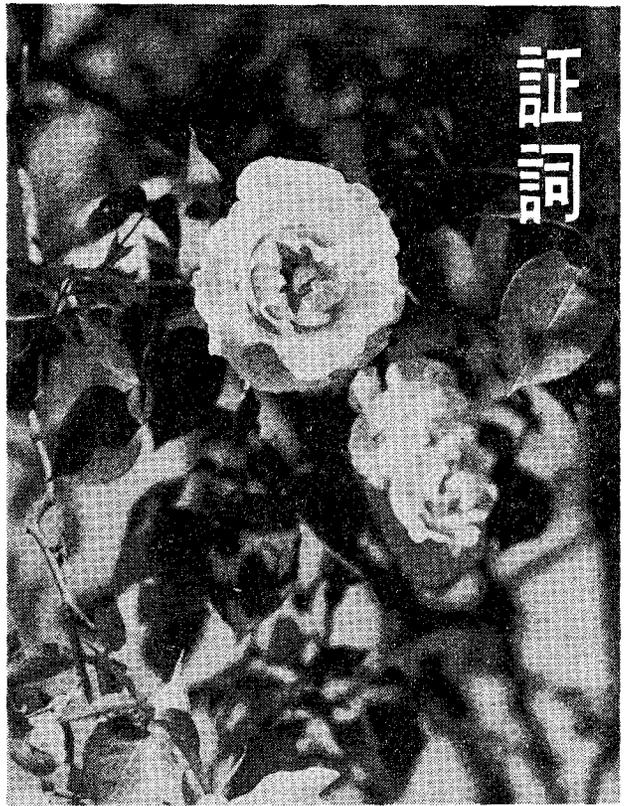
長老たちは高松に来てからほとんど三カ月半になります。私たちが着任したとき旧会員を見出すことができませんでしたのでほとんど第一歩からスタートしたのです。今迄私たちは多くの戸別訪問をし、また若干街頭接触も行いました。毎

月曜日の夜、私たちは会館で英語のクラスを開いておりますが三十五名から四十名の出席者がおります。毎回英語のクラスが終ってから四、五人に教会を紹介しております。

私たちは着任して一カ月後の七月二日に最初の日曜学校を開きました。私たちは現在日曜学校と聖餐式を繁華街の会館で開いております。平均出席者数は十名です。

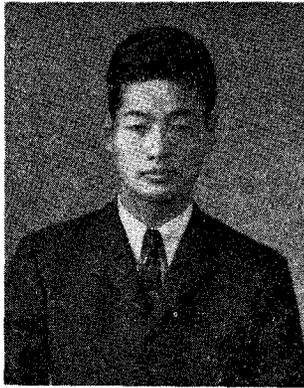
この写真は五人の会員と一人の勉強は終わったけれども家庭の事情で（年令は達している）まだバプテスマを受けられない姉妹一人です。この立派な人たちは皆神は生き給い、この教会は真の教会であることの証を持って生活しています。これらの人たちは皆福音のために個人的な犠牲をしておりますが、それが証であります。私たちは皆高松を愛し主は誠に私たちを祝福して下さいます。ここで支部はその数と経験に於て毎日成長を続けております。

# 証詞



## 建築宣教師に召されて

中島 初男



愛する兄弟姉妹のみなさんこんにちは、今私がこうして建築宣教師として召され、神様の御業に奉仕できていますことを心より感謝しております、と同時に私達をよく世話をして下さいました各支部の兄弟姉妹に心より感謝しております。私が建築宣教師として召されてか

ら、そんなにたっていないかもしれませんが今までに多くのことを学び、知り、経験してきました。短期間ではありますが、私が普通の会員では学ぶことができないほど学ぶことができています。もし建築宣教師として召されなかったら、これだけの祝福は受けられなかったと思います。この間に於て悔いのないものにして自分自身の信仰の土台となるものを造ろうと御業に励んでいます。苦しいときも、つらいときもありますが、そんな時には常に主を念頭において働いています。そうすると気が楽になり、時々讃美歌をうたったりします。仕事を一生懸命した後に体が休ると、本当に幸福感をかんじます。各支部での色々な楽しいことが思い出されます。夜空を見上げ星をじっと見ていると天の雄大さがよくわかります。この宇宙を治めておられる方は、どんなにか偉大な御方であろう。そして日々我々を恵んでくださっている。それを考えると神様の御業に感謝せずにはおられません。時々夜が静まりかえると外へ出て一日のことに感謝しお祈りをしますが、心が安らかになりよく眠ることができます。みな一日一日をむだにしないように、この期間を大切にして過しております。たまには哲学の本(漫画)を読んで笑いこけますが、とてもおかしく気分解消にもってこいです。

あなたは今どんな気持ちで教会に来ていらっしゃるでしょうか、英語? 単なる遊

び? 友達をつくるために? 私も教会へ来た頃はそんな風に考えていましたが、今では全然考え方が変わりました。それだけ教会で成長したのだと思います。

各支部へ行き沢山の兄弟、姉妹と働くことができ、彼らが神様の御業を一生懸命しているのを見ると胸をうたれます。もつと自分も頑張らなければと、考え一段とフアイトを燃やします。我々が彼らと共に働いていると自然に友情が深まり、又一人親友ができたかと思うと嬉しいのです。建築中は会員達にとっては大変厳しいものです。朝早くから食事の用意をし、工費を集め、夜遅くまで仕事会です。その時その時は本当に苦しくつらいことだと思えます。建築中は個人個人の試しのときと同じです。自分がどこまで耐え忍んでゆくかは、自分自身にかかってはいますが、それが終るとそれ以上の祝福を受け自分がどれだけ強くなったかを見ることができるとでしょう。私もその時を楽しみにして待っています。

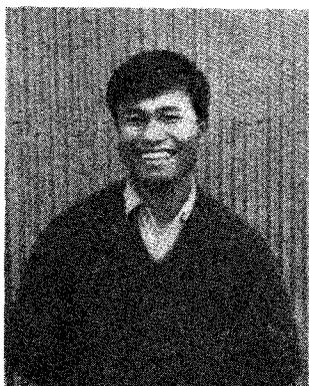
「あなたがたが会った試練で世の常でないものはない、神は真実である。あなたがたを耐えられないような試練に会わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐えられるようになるのがれる道も備えて下さるのである」(コリント人への手紙十章十三節) 今までに多くの支部が建ち献堂されましたが、どうぞそのときに、奉仕されたときを思い起して御

業に励まれますように、私達は教会にあって色々な責任を与えられますが、それらを拒むことなく、素直に受けられますように、そこで拒めば私達の進歩は一時そこで止まってしまいます。自分にそれだけの才能や自信がなくても、それを受け一生懸命に尽せば神様が導いて下さることを証したいと思います。そして共に前進いたしましょう。私達は弱い者でもすると悪魔の誘惑に負けて道はずしてしましますが、共に栄を得るために毎日悔い改め神様により近くなりたいものです。今こうして建築宣教師として、神様の御近かに居ることができ、同僚達と共に奉仕する機会が与えられていますことを感謝しております。共に私達の指導者をよく支持して従って行きましょう。

今大阪の岡町支部の建築が始っています。そのため今よりもっと多くの建築宣教師が必要になって来ています。これから多くの兄弟達が建築宣教師を希望され、神様の御業に尽くされたいと願っています。貴方も召されて建築宣教師となるように心から待っています。最後に私の家族はモルモンではありませんが、建築宣教師として出させて下さいましたことを心より感謝しております。お互に神様に従順で忠実であり、私達が与えられる責任をよく果たすなら、神様は責任をもって私達を守り、導いて下さるということを証し、この教会は真に、神様の教会であり予言者ジョセフ・スミスによつ

て回復され、現在の予言者が神様から啓示を受けていることを証したいと思います。すべてイエス・キリストの御名を通して申し上げます。アーメン。

## 金子 博



愛する兄弟・姉妹の皆さん今日ね、私は現在建築宣教師の召にありますがことを感謝いたします。さてよく私に会員の人達が、「建築宣教師になってどうですか?」と聞かれますが、私はすぐに「もちろんいいですよ、素晴らしいです」と答えます。建築宣教師になって三ヶ月になりましたが、思い出して見ると本当に色々なことがこの短い期間にあり、アツと思う間に過ぎてしまったようでもあり、あるいは長かったとも思えます。八月に召され伝道本部で接手任命されてすぐ下に降りて働いたので、「君は召され

て一番早く働いた人だ」と仲間はどういいます。そしてその記念すべき第一日の仕事は、伝道本部のキャビネット作りの手伝いをして終わりました。それから東京各支部の修理を終り、四人の同僚達と共に北海道に転動しました。汽車の窓から見る風景はとても美しく本州とは大部違っていました。

最初に室蘭支部、この支部の建物は大部分が痛んでおり、見る影もなかったが一ヶ月間、夜遅くまで仕事をしたこともあり、また仕事会も行はれて前とは見違えるように、立派な建物となりました。我々建築宣教師の力、そして全員一致協力のもとに行う力の大きさに、自分でも驚きました。私が建築宣教師になろうと思ったのは、私の出た横浜支部の建築中の模様をスライドで見て、そのときの様子を会員たちから色々と聞いて、建築宣教師たちが、血と汗とはほりにまみれ、寒さにふるえながら築いたその力を知っていました。そして支部長の面接があって、私は出たいと思っていたので、両親の許可を貰うと思いましたが、反対もなくすぐ出られたことを感謝します。そして今、私を手を動かかし、全身を動かして仕事をしているときは、本当に自分は健康であることを、多くの人々の愛によって生活していることを、また何よりも神様から祝福されてこのようにいることをいつも感じる事ができます。教会を知らなかったときはそのようなことは考え

えたこともありませんでした。今自分は本当に幸福であると思ひ感謝しております。建築宣教師の苦勞、楽しいこと、建築宣教師でなければ経験できないことが、この貴重な二年間にあると思ひます。本当にこれほどよい機会は何にないと思ひます。

(23頁より続く)

神様は確かに生きていらっしゃる、私たちが義しく働こうとすると、何時も導きとめぐみを与えて下さるとはつきり知ることができました。すべてを御子イエス・キリストの御名によって証します。アーメン

# 地方部宣教師

## 初夢

今井一男

一九六七年もあとわずかという今頃に、このような題を御覧になると、誰です一寸変に思われると思います。では何故この題をつけたかと申しますと、私は昨年正月にこんな夢を見ました。

ある日、私は小

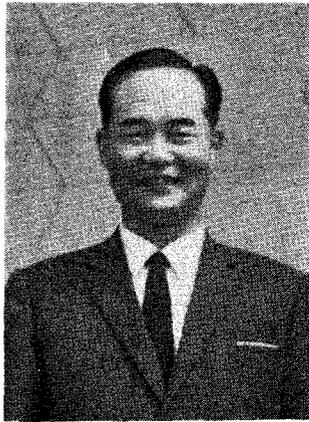
松伝道部長より、特別の呼出しを受けて本部へ行きま

した。

そして、伝道部長から「今井兄弟あなたを宣教師として召ししますので、できるだけ早

く、伝道に出られるよう準備して下さい」と言われたのです。

私はすでに結婚して、二人の子供もおりますので一寸変に思いましたが、すぐ思い直し、妻も私も以前宣教師であったので、再びこのようなお召しがあれば、



いつでも受けられるようであればいい」と考えました。妻も多分許してくれらるだろうし、生活費も何とかなるだろうと思いました。そのように考えていたときに夢からさめましたが、何とも不思議でなりません。

前伝道部長のアンダーセン長老は、以前奥さんと子供たちを残し、日本に伝道に來られました。その間奥さんが一生懸命働いて生活し、また送金されていたことを思い出しましたが、妻子があり、扶

養義務のある人は、仲々伝道に召されることのないと知っていました。

その夢を見たことは、妻にだけ話しましたが、はたして召しを本当に受けられるかどうか、誠められたようでとても恐ろしい

でした。当時私は伝道部S会長でした。気がしながらも数日が過ぎました。一月の十二日用事があるて伝道本部に行きましたところ、今度は本当に伝道部長から次のようにお話しがありました。

「今井兄弟、あなたは私のいうことをよく聞いて、そのようにして下さいと信じます。今度非専任宣教師の制度を改めて、地方部伝道部とし、あなたを東中央地方部の伝道部長に任命したいと思っています。三月の地方部大会で提案し、支持をとるつもりですからそれまでよく準備して下さい」と。私は驚きまた感謝しました。この福音を我々の同胞に伝えることは、もっとも大切な、尊い仕事でありませんが、その責任に現在の生活を続けながらつづけるのは、本当に大きな恵みであると感じました。幸いに副伝道部長として、日本人で初めてハワイで伝道し、帰って来た奥山兄弟（現山本兄弟）の協力を得て、三月の大会後発足しました。

兄弟たちも、日一日と自信と証詞を強めとても楽しい有意義な一週間でした。そのトレーニングの後、彼らは地方部長より按手任命され、地方部宣教師として始めての兄弟たちとなりました。東京西支部を始めとして、北、中央、横浜、仙台の兄弟姉妹たちとトレーニングを行ない、沢山の宣教師が召され、現在活躍しているのを見るとき、私は胸の中に一杯の喜びと感謝で満たされています。

会社、学校、家庭にあって、地方部宣教師として伝道するためには、時間をよほど有効に配分しないとむずかしいです。また求道者が見つからなかったり、思うように伝道できないとき、これは同僚と時間が合せられないときですが、そのようなときは本当に悲しくなり、つらいです。

しかし同僚と自分が力を合せ、思いを合せて、良い求道者がバプテスマを受け立派な会員となるときに味わう喜びと感激は、筆舌で表わし難いもので、その喜びはいつまでも、その宣教師たちのものです。

私は一人でも多くの兄弟姉妹がこの機会を通して、この教会が真の回復された神の教会であり、神とイエス・キリストは確かに生きておられ、ジョセフ・スミスが末日の真の予言者であるとの証しをもっと強めて頂きたいと心から希望しております。

そして今まで伝道した地方部宣教師、

また現在熱心に伝道している地方部宣教師の方に心から感謝しております。生き給う神とイエス・キリストは必ず宣教師に祝福と恵みを給うことを強く証詞致します。

## 山本芳美

(東京東支部)



ハワイで伝道中、私は恵まれてN・ゴードン・タナー割管長を招いての宣教師大会に出席することが出来ました。赴任して未だ六カ月を経たばかりのときで、言葉の不自由なことには悩まされてましたが、何もかもめずらしいことでしたので四年も過ぎた今でもはつきり思い出します。当時、ハワイ伝道部には六十名をちよつと超す宣教師が召されておりましたが、その日集まったのはオアフ島に奉仕する約四十名(長老が三十名以上と姉妹が六名くらい)でした。大会はホルルのヌウカウにある伝道本部で、いつものように証詞会が行なわれました

が、ひととおり宣教師の証詞が終わったときタナー長老が彼らの証詞の中に出て来た「Burning feel」燃えるような感じについて次のようなことを私たちに質問なさいました。

「あなた方の証しの中に度々出て来た、燃えるような感じ」とは聖霊があなた方の心を励ましておられるということであるが、ちよつとその気持ちを感じたことがある人は手を上げて下さい」

私は割管長が何で、そのときにこのような質問をなさったのか今でも解りません。しかし、そのときに見廻したところ私も含めて挙手していない人はなかったと思います。

神様の御言葉を二人づつ組になってひろめて歩く宣教師にとって聖霊の証詞は当然ついているはずだと素直にお認めになる方は恵まれた兄弟、姉妹であると私は思います。そして、今心の中に温かい感じを持たれている方はさらに幸福な兄弟、姉妹であります。宣教師として召された何万人の兄弟、姉妹、いや現在召されている兄弟、姉妹はすべて、珠玉の福音を隣人に分かち与えようとして一年半ないしは二年、二年半の人生を過ごされているのです。また私たち日本の各支部に集って信仰を行っているすべての兄弟姉妹は世界中のモルモンと同じように、神から召された宣教師を通して神の国の門をくぐって来ています。私もまた、一介の末日聖徒として奥義の果てしない福

音を授けましたことを感謝して止みません。そして教会に集い、経典を学び、祈りを心からするとき例えようのない幸福を感じるのです。人間の存在は非常に価値あるものと教わりました。全人類は唯一の方から霊の子供として生まれたことを教わりました。そして何よりも嬉しいことに、神はどんな人でもへだてなく唯れでも御言葉を実行する者を赦して下さることを知りました。私は全くその通りだと信じます。

イエス・キリストこそ文字通り救いの主であります。あなた自身と私自身を愛して下さっているのです。

聖霊はニーフアイを悲しませ、ニーフアイの体を火のように熱くしました。私自身も他の沢山の兄弟姉妹と同じく良いものはすべて聖霊の賜で致しました。またこれからも聖霊の賜で証しを立てていきたいと思えます。

## 原孝子

(東京北支部)



早いもので夢中で過しました地方部宣教師としての伝道生活を終えまして、もう一年四カ月あまり過ぎました。

ふりかえってみますに伝道期間中は、御霊に満たされ充実感を覚えた楽しい想いは他に比べることの出来ないものです。伝道に召され、実際にそのお仕事にぶつかっていったときに、今まで私を持っていた観念的な神様に対する概念ではなくて、本当に身近に理屈なしに神様がいらっしやる、導いて下さっているという強い確信となりました。この証しは私にとって一番重要なことであり、何にもものにもかえがたい喜びをもたらしてくれました。また家庭集会で私は初めて聖霊に満たされるという実感を味わい、うれしくて胸が一杯になり、同僚と喜びを分かちあうことも出来ました。

伝道の目的は人々に福音を伝え、人々に幸福をもたらすことですが、私にとつて伝道生活は自分自身にも多くの祝福を与えてくれるものでした。

私は最初の頃、慣れないので街頭でチラシをくまることが恥かしくて顔も上げることが出来なかったのですが、次第に誇りを持って人々にチラシをくまらばり、この人は教会に来て下さるかしら、この人はどうかしらと、いろいろにおもい、心の中で沢山の人が来て下さるように祈りながら余裕を持つることが出来るようになりしました。あのとときの求道者のこと、この求道者の場合と、いろいろの想

い出が沢山あります。今まで内気で人の前に立つことが大嫌いで、お祈りだとか二分半のお話しが与えられますと、どう

しても上ってしまいおもっていることの半分も出すことができなかったのです。が、伝道生活はそのように弱い私に、勇気を与えて下さる神様の助けがあり、私なりの自分を段々と出すことができるようになりました。そして初めて持った求道者であり、初めてバプテスマに導いた姉妹が現在すばらしい地方部宣教師として働いていらっしゃいます。またMIAに日曜学校にと、かつての求道者が熱心に働いている姿を見ることが出来ます。こんなうれしいことが他にあるでしょうか！一つの小さな働きが、次の働きを生み、それがだんだんと拡がっていくであろうことをおもうと神様の大きな力を感じます。

私は心から伝道生活の経験を感じております。この喜びは実際に体験してみなければわからないのです。

教義と聖約の一八章で主は、唯一一人の人たりともわれに導かばわが御父の国に於いて彼と共に汝らの喜び如何ばかりぞや……汝らもし多くの人を導き来らばその喜びは果して如何ばかりぞや、とおっしゃっています。どうぞ一人でも多くの方が伝道に出られ、この喜びにあづかりますよう心から祈っております。アーメン

## 増田幸子

(東京東支部)



今から五年前、丁度私が高校二年のときでした。長い夏休みも終わり、再び学校に通い始めました。そんなある日のこと一人の友だちが、これ近くの駅の構内でもらったのよ、と言いながら、一枚の小さな紙を見せてくれました。それは教会の諸活動が説明されてあるチラシでした。そこにはもちろん、日曜学校やMIAの内容も説明されておりました。けれども私たちは英会話を教えていただけでも私たちが英会話を教えていただけでも、早速木曜日の午後その集会に行ってみることにしました。場所は小岩にある江戸川学園というところでした。今一人になってしまいました。そのときは五人の友だちが一緒でした。何回かそこに出席している内に、私たちはその集会の後にもう一つの集会、すなわちMIAが開かれていることを知りました。やがてそのMIAにも出席するようになります、宣教師の方より家庭集会を通して、

福音を教えていただくようにもなりました。

各課のレッスンに於て、私は深い感銘を受けました。特に、救いの計画、永遠進歩の法則についてのレッスンは、教えて下さる宣教師の言葉一語一語が、自分の心の中に真理として浸みこんで行くようでした。日曜日ごとの礼拝も本当に楽しみました。それ以後、私は現世にいる目的も、またどのように日々を過ごすことでもっとも正しく、善しとされるものであるか、はつきりわかりました。そして真に自己を確立しようとするときは、心をむなしくする用意をしなければならぬということ、すなわち幼児のようにならないければ、神の国に入ることができないという意味をはつきり理解することができました。また自分の浅薄な好悪や、この世的な判断、思想をすてて、神様から与えられる理想食の苦味を合掌しつつ味わってみるだけの、心の素直さが本当に尊いものであることを知りました。福音を知ってから、私のすべてのものに対する考えはこの世だけのものから、永遠に続くものへと変わって行きました。このことは私にとって、とても大きな収穫であり喜びでした。こうしてその年の十二月にバプテスマを受けることができました。それから今日まで、常に喜びをもって教会に集うことができたということは、神様の導きと祝福であると思わずにはいられません。会員になって間

もなく、私は日曜学校の書記の責任をいただきました。ここで記録をつけることの大切さを学びました。

やがて年は明け、一九六三年を迎えました。その年に私たちの高校では、カリフォルニア州のリバースサイド市にある高校と、交換学生制度をもつようになりました。そしてはからずも私は、学校から一年間アメリカに於て生活する機会を与えられました。アメリカに行けると、ことだけでも大きな喜びでしたのに、さらに神様は私にモルモンの家族をスポンサーとして与えて下さいました。真の愛に満ちたすばらしい家庭の中に入り、教会活動にも活発に参加でき、家族同様の暖かい交わりを得ることができました。とは、今思い返してみても涙がこぼれんばかりの喜びと、感謝の気持ちで胸が一杯になります。ここで私はモルモンの家庭のすばらしさを、まざまざと見せつけられました。そしてどのようなことがあっても、必ず自分もモルモンの家庭を築こうと決心しました。その一年間は私にとって本当に有意義な、経験の多い日々で満ちされました。特にロスアンゼルス神殿で、死者のためのバプテスマを受けたことや、祝福師の祝福を受けたことなどは、すばらしい経験となりました。これらの他にも、ソルトレークで行なわれた一般大会に出席できたことは大きな喜びです。始めてデビッド・O・マッケイ大管長のお姿を目にしましたときに

は、感激のあまり身振いがしてしまいました。そして手をのばしたなら、すぐに届くことができるくらい近くに神様がいらっしゃるような気持ちになりました。私はただ単に日本の一学生としてアメリカに行っていたとしたら、このような大きな喜びや祝福は受けることができなかったものと思います。本当にモルモンに導かれましたことを心から感謝致しております。

一年の留学期間を終えて、日本にもどりましてから、私はYW・MIAの会長としての責任をいただきました。ここで沢山の兄弟姉妹に助けられながら、共に進歩する機会を得ました。何カ月か後には私は地方部宣教師としての責任をいた

きました。一年半のその期間中、良き同僚とともに一生懸命そのお仕事に努め励みました。今教えてみようと思っても十五名くらいの改宗者の名前が、次から次へと頭の中に浮んできませんが、本当に神様の教えを宣べ伝えることは大きな喜びでした。私はこの責任を通して、同僚からあるいは求道者の方々から、沢山の霊の糧をいただくことができ、証詞をさらに強めることができましたことを心から感謝致しております。その後、扶助協会の第二副会長、日曜学校の教師などを経て、今年の三月、再び地方部宣教師の召しをいただきました。前に一度経験があるとは言え、気持を全く新たに現在同僚と共に、一人でも多くの人々に

永遠に価値あるものとして通用するものを分ち与えるべく頑張っております。

誠に神様と共にあるということ以上にすばらしいものはありません。神様に忠実であるならば、常に霊的に保存され、主のみたまに守られ、心の中に平安を保ち続けることができます。私たち人間は弱いですから、ときにはいろいろの人生の問題から免がれることができず、またある悲劇から逃れることができないうようなことがあるかも知れません。しかしもし私たちが真に神様に忠実であるならば、何ら恐れる必要はないと思うのです。なぜなら主によって慰めのみたまを受けられることができるからです。どんな問題をかかえていようと、私たちは神様から逃れて生活することはできません。なぜなら神様は真に生きていらっしゃるからです。私は末日聖徒イエス・キリスト教会が、神権によって回復された神の唯一の教会であり、そこで教えられている教義こそ、私たちが神様のもとへ導く正しい道しるべであることを心から証詞致します。そしてその道を歩んでこそ、真の幸福が得られることを確信しております。これからも神の娘としてふさわしい者となれるよう、さらに自己を聖め、高めて、御国建設のために皆様と共に頑張りたいと思います。すべてをイエス・キリストの御名によってお話し致します。アーメン



神様は誠に生きていらっしゃる。日曜学校のBクラスの教師として、毎週すばらしい真理について学ぶ機会に恵まれていた私に、十八才以下の生徒がいなくなつたため、必然的に解任となつてしまった去年の十二月、神様は私が考えてもみなかった、すばらしい責任を与えて下さいました。

神様は常に良き道を与えて下さいます。サタンもまた私たちの生活にその手を差し出していることも確かです。

地方部宣教師の責任をいただいてから、かつてなかった色々の問題にぶつかりました。しかしともすれば挫折しそうな信仰心を正しい道へと導いて下さったのは、やはり神様の愛であることも知りました。

祈るとき、神様は必ず、神様の御心にそつた道を示して下さいことを証詞いたします。



ジョセフ・スミスは、いまの世につかわされた予言者であることを、神権が回復されたことを証詞します。そしてイエス・キリストは確かに私たちの救い主であることを証詞いたします。

## 山口 信子

(東京中央支部)



バプテスマを受けてから数年間、ただただ子供日曜学校で、子供たちを導くのに無我夢中でした。子供たちにイエス・キリスト様のことを、ほんの少しでもいいから知ってもらいたいと思ひ色々話しました。中でもすごく苦労したことは、十字架にかかったイエス様が、再びマグダラのマリヤの前に現われたということでした。どのように彼等によく理解してもらおうか、本当に大変でした。

それから約一年間自分の信仰について、じっくり考えるようになりました。そして私たちのために十字架にかかったイエス様のことを思うたびに、「イエ

ス様のために何かしたい」と考え始めるようになりました。

そんな気がだんだん強くなり「ああ伝道にでられたらどんなにいいだろうなあ」と思いました。でも勤めも忙しいし信仰もまだそんなに強くないし、それに話すのが下手だから、いくらイエス様のために何かしてあげたいと思ってもだめだと考えてしまいました。

そんなある日、前の中央支部長小室兄弟より、伝道してみませんかと言はれて「はっ」としました。でも先程書きました理由で返事を決めかねていましたが、やはりイエス様のことを知らない人にもっともっと福音を知ってもらいたいという気持が強くなりました。

そして伝道する決心をしました。今年の四月から地方部宣教師となり、家庭集会の回を重ねるたびに、神様とイエス・キリスト様は「真に生きてまします」ということが、はっきり証詞できます。

そして確かにジョセフ・スミスは末日の初代の予言者であると証詞します。

## 水野 裕夫

(東京北支部)

地方部宣教師に召されてから、まだ日は浅いですが、数多くの経験をしました。もちろん苦しいこと、悲しいこともありました。しかし幸福そうな人の顔を見たときそれらはすべてなくなってしまう

います。

宣教師に任命されてから、神のみ霊はつきりと感じる日々が、多くなったことは確かです。家庭集会でレッスンをしているとき、確かに私たちは神の導きのもとにあるとはっきり判ります。このとき程神が生き給い、我々が常にその光の中にあることを感じられるときはありません。しかし神の導きを受けるには鋭敏な感受性をもっていなければならぬことがよく判りました。それゆえ私たちは毎日心を澄まし、神が話しかけられる機会をつくっておくべきです、神の導きを求めた上は神の導きを信じるべきです。

羊飼いは、羊たちの先導をして道を開いてゆきます。神は私達のために、道にある邪魔ものを取除いて下さいます。短い期間で私は多くのことを学びまし



たが、主は私たちの心の扉の外に立っていて、私たちが招くまでは決して入って来ません。しかし扉を開けたとき、主が我々の中に入って来ることのなんと早い

ことでしようか、しかしその大いなる愛への第一歩は、常に私たちから踏み出さねばなりません。家庭集会を終えて、先程別れた求道者の強い握手をまだ手に感じながら家路に向うとき、今私に与えられているこのすばらしい特権にいつも感謝しています。

## 渋谷 詳子

(東京北支部)



一九六五年八月二日にバプテスマをうけてから、私に与えられた責任は、子供日曜学校の教師と、現在の地方部宣教師です。私が宣教師をするようになってから本当に、たくさんのお祝福を受けることができました。この責任があることを心から感謝しています。三月に任命されてからもう七ヶ月ぐらい過ちましたが、会社の仕事が忙しかったり、同僚がいなかったり、また自分自身充分に働かなかつたりしたため現在までの改宗者は二人しかありません。でもこ

の二人の改宗者は熱心に教会に集い、強い信仰をもって一生懸命系図を調べています。宣教師をしている間に色々の誘惑があり、また信仰を試されることや、自分自身の犯す罪から自分の行く道を暗くすることもあったりして、本当にこの責任が重く感じることもありましたが、でも二人の改宗者を見ていると希望がわいてきます。

「而して、汝らもし生涯今の世の人々に向いて悔い改めを叫ぶことに力を尽し、唯一人の人たりとも我に導かば、わが御父の御国に於て、彼らと共に汝らの悦びは如何ばかりぞや……」

一人でも導くことができたなら神様は本当に喜んで下さいます。そして神様の喜びは私たちの上に祝福となつてかえってきます。本当にすばらしい尊い経験です。私のように力の小さいものにも、神様は御霊を下さつて、召して下さいました。できるならいつまでもこの責任をいただいていたと思つています。

私はこの経験を通して、真の幸福とはどのようなものであるか、少し判つてきました。それはこの世のどのような幸福にも勝つており、あらゆるものを捨てても得なければいけない価値あるものであると思つています。そして、それを見出すことは難しいと思つています。でもいつも強い信仰と愛をもって必ず幸福を見出すという希望をすてないで行つたなら必ず得られると確信しています。

私たちは幸福を得るためにこの世にきました。確かに神様は全ての人々に幸福を得る機会を与えて下さいます。今、私から一人でも多くの人々に幸福です。これからの一人でも多くの人々に私の持つていた証詞を宣べたいと思つています。いつも幸福を分かち合えるように御霊に満たされた生活でありたいと望んでいきます。私は神様が真に生きていらつしやることを証詞します。

すべてイエス・キリストの御名によりて証詞しました。アーメン

## 新山 泰子

(東京北支部)



私には沢山の悩みがある。しかし現在それらに負けずに生きようとする力をも持つている。私は同僚である渋谷姉妹と共に最高の伝道をした気持でいる。

それには他の一切の雑念を払い、それのみ集中したり、そのことを成功させるために絶えず心を使いたい。また私と

渋谷姉妹の絆を本当に一本の心に集中できる強いものにした。何事もお互に相手の心を受け入れられる関係でありたい。また二人一緒に沢山の勉強の時間を持ちたい。そして与えられた限られた時間内に一人でも多くの人に、本当に強い証を述べたい。神のみもとに導きたい、神をおいて人間の安らぎのないことを伝えたい、本当の神の心を伝えたい、そして一人でも多くの人々が本当の幸福を知ることができるよう、そして渋谷姉妹と私がパートタイムではあつても、宣教師と言う体験において、本当に充実感を味わい、満足して、その責任を終えることができるようにと願つている。

最後に教義と聖約十五章六節によつてこの証を終りとする。

「汝にとりて最も価値あることは、汝今の代の人々に悔改めを宣べて人々をわれに導き、以て彼らと共に父の御国に休まんことなり。」アーメン

## 堂前 俊雄

(横浜支部)

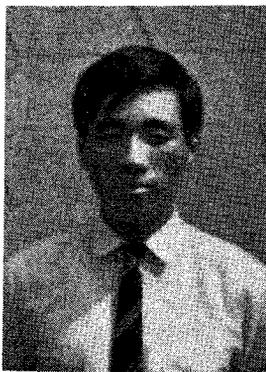
私は今年の四月、地方部宣教師に按手任命されましたが、按手されたときに、この責任は私のために、前もって準備されたのではないかと考えました。

なぜなら、私は一年前でしたら、この仕事をする事ができない状態にありました。それは前に勤めていた会社では三

交代制でしたので、教会に出席することも困難でした。

そこで私は支部長さんに相談して、去年の十月新しい会社に勤めました。

それから半年後会社もなれてきた頃に、支部長さんの面接があり、地方部宣教師になつて伝道しませんかと言はれました。そのとき私はニーファイ第一書の聖句を思い出しました。それは第三章七節の『そこで私ニーファイは、私の父に「私は主が命じたもうたことを行つて行。私は、主が命じたもうことには、人がそれをなしとげるために前以てある方法が備えてあり、それでなくては、主は何の命令も人に下したまわれないことを承知しているからである」と言った。』私が職を変えたことが、本当に神様の導きであつたことを、はつきりと判り、証詞することができました。



略歴 昭和二年 岩手県生る

〃 三八年十一月三日バプテスマ

〃 四二年二月大神権を与えらる

詩

小泉 裕 功

(横浜支部)

証 詞

静かな秋の夕餉時……

生きる喜びに触れる時……

あなたは人間でしょう。

私も人間です。

いやノ クリスチャンです。

いやノ モルモンです。

あなたは神を信じますか。

私は神を信じます。

いやノ 神様がいることを知っているの

です。

いやノ 神様から知らされているので

す。

あなたは才能がありますね。

私も才能をもっていません。

いやノ 特別な才能を与えられているの

です。

いやノ 神権の職に召されているので

す。

私は末日の聖徒

私はモルモンの宣教師

この体験——

この実践こそ

真理を肌身で感じるとき

生きる喜びに触れるとき

一九六七年九月二十日



斉藤 とめ子

(横浜支部)

証詞をさせていただく機会に恵れて心から感謝致します。

山形の鮑海というところで生れましたが、いくら見ても飽きない海なので、鮑海と呼ばれているそうです。そのような恵まれた自然界にあっても、鮑海では神の存在を知る余地はありませんでした。

幼稚園に通う頃から、教会に行きたいという気持があつて、通う道すがらいつも教会の前を通るたびにそう思っていたことを、今でも思い出します。

中学頃になりますと、北海道の修道院に行きたいと考え始め、卒業して少しばかり看護婦の見習いをしましたけれど、どうしても東京の方へ出て行きたい、という気持があつて、親の反対を押し切つて出てまいりました。けれども神は、私がつもつとも良き方法で、信仰生活を歩むよう、心の準備、とき等を良く知っておられ、幼きときより心にあつた、その道

を備えられていたということをはっきり知りました。そのことにより神の計画の偉大さを知らされます。私たちに目の前にある小さなものを望み、それを得ようと必死になるときもありますが、神の計画は何と偉大なものでしょう。それを知ったとき、神の愛の偉大さと、すばらしい計画の中に、私たちを歩ませ、導かれていくことを、感謝せずにはおられません。神の思いと私たちの思いその違いをはっきり知らされます。

八年前に、兄弟姉妹の暖い愛に見守られて、逗子の海岸で、バプテスマを受けましたけれども、その頃の長老の職の人は少く、今の十二使徒に備える程までに尊い職でした。今日沢山の長老職の人がいるのを見ると、このように教会の発展を見るときに大きな喜びを感じます。またそのときより現在をはな末日であることも知らされます。

バプテスマを受けてから、日曜学校の書記、子供の日曜学校、扶助協会の文学教師、第二副会長と、いろいろな責任に召されましたけれども、伝道の仕事程、価値ある責任はありませんでした。信仰生活が長くなればなる程神の計画の偉大さ、奥義にふれ感銘させられます。

他人の倅せのために働く、神の計画の一部分なりともふれさせて頂く機会に、恵まれていますことを心より感謝致します。これから先、神様は私にどんな計画をもって、道を備えていらっしゃるか判

りませんけれども、どんなことがあつても、先ず神の国と神の義とを求めて、最後まで堪え忍ぶことのできる者になりた

いと願つております。神は実に生き給うことを証詞致します。

児 玉 伯 子

(松本支部)



私は再び地方部宣教師として召を受けることが出来ましたことを感謝致します。会員として日の浅い私には二度の尊い召が何物にも勝る価値ある経験であります。始めての伝道は会員生活一年二ヵ月という未熟なときに皆様の励ましによって受けることが出来ました。人前に立つて話すことも、神様の福音を教えることも苦手なものですからどのようにすれば宣べ伝えて行くことが出来るのか不安で一ぱいでした。最初に開いた集会の喜びは大きなものです。何時までもわすれられないことです。そして、私の助けと

なつた聖句もあります。

私は主が命じたもうことを行つて行く私は主の命じたもうことには人がそれをなしとげるために前以つてある方法を備えてありそれでなくては主は何の命令も人に下したまわれないことを承知しているからである。(ニーフアイ第一書三章七節)

神様の福音を知らない人に、また求めて来た人々に宣べ伝えることは私にとつてその人々と共に自分も勉強する状態にあり、ときに困難に落ちいることもありました。常に宣教師としての心がまえや態度は求道者の姉妹たちに影響をあたえました。姉妹の成長を見ることは神様からの報酬であります。これ以上の喜びはありません。強く自分自身に使命の重要性を知らされず。また、夢中で責任をかえりみることもなく過してしまふことがしばしばあり残念に思われます。

さて見よ一つの驚嘆すべき業まさに人の子らの中に現われんとす。この故に汝ら神の役務に出で立たんとする者は終りの日に臨みて神の前に咎なくして立つためすべからく心をつくし勢力をつくし思いをつくし体力をつくして神の役務をなせされば汝らもし神に仕えんと望むらば汝ら神の業に召さるるなり。

私はこの聖句を宣教師として本当に大切であると思つております。この末日の世に一人でも多くの人々が神様の御国に入る事が出来るように働かなくてはな

らないと思ひます。この機会を通して眞の幸福を分かちあたることは本当にすばらしい責任であります。神様からあたえられたこの召を聖なる目的に向つてより励みたいと思つております。

また、常に父なる神様の愛の深さに感謝致します。五年前の私が求道者として学んだときのことを思い起し永遠の生命に到達する道を一步一步共に歩みたいと思ひます。

神はわたしたちのためにさらに良いものをあらかじめ備えて下さつていてのてわたくしたちをほかにしては彼らが全うされることはない。(ヘブル人十一章四十節)

再び回復された神様の教会であること証詞致します。これらをすべてイエス・キリストの御名により証詞致します。アーメン

### 経歴

一九六二年六月十七日バプテスマ

日曜学校教師

地方部宣教師

扶助協会第一副会長

日曜学校書記

YW M I A 会長

扶助協会教師

地方部宣教師

## 百瀬 城子

(松本支部)



風かほる五月地方部宣教師に召されて以来、もつと宣教師らしく、もつとしっかりしなくては、勉強はこんな風に、頭の中だけに回転する影を求めて、早半年が過ぎ、夢中で過ごしたふり返る日々が、恨く感じながらも、神様の道に働くことができずことを心から感謝しております。神様の福音を聞くことのできる人、またそのチャンスを見いだした人、宣教師に接することのできる何万人

の一人の人、神様について全く知らないそんな人に、神様がどんなお方であるかを語り伝え、彼女らの目の輝きが次第に確実となるとき、私たちの使命がいかに大切であるかが私には漸くにしてわかるような気がしてまいりました。この世に生を受けた一個の人間が、いままで全く存在しなかつた何物かに触れ、神様の印象が脳裏にやきつき、その心が感動で被われたとき、その人の人生その人間にと

つて最も偉大な人生が変えられて行く、今までの理想も、夢もすっかり神様のカラーに塗られかえられて……。以前よりも、もつと生々と、力強く、もつと幸に……。私は宣教師としての仕事に心から感謝しております。ただ、あなたがたはキリストの福音にふさわしく生活しなさい。(ピリピ一・二七) 完全な神様。しかし求道者は神様を知る前にまず私たち宣教師を知らねばなりません。伝道はいつも、どこでも、心が清く、謙遜で、良く準備されているときしかできません。そして福音にふさわしく生活できる者こそのみが、神様の代理人であつて、召された宣教師であり、完全な神様について語ることがのできるであります。

言うは易く行は難し。といひますが、行いの伴わない現実にはしばしば遭遇しながらも、私の一挙手一投足が神の御わざに通ずるといふ願いの下に、自からを制して日々を過したいと思つております。信仰生活十幾年、年月ばかりたつた私にとって、社会人として、また一人の女性として、宣教師となりることができぬとき、私は残念でならないのです。そしてそんな自分がくやくしてなりません。しかしそんなときの自分を勇気づけてくれるのは、友人でもまた指導者の方々でもなく、私達の求道者なのです。ともに勉強し、ともに祈り励ましあつて、神様の子供に召された姉妹たちが、常に身近かに、鏡となつて働いて下さると

き、またその成長を見るとき、姉妹たちの心の全てが、はつきりと神様だけで占められているのを知るとき、私は神様の御わざに、携わった喜びを感じます。このちいさな喜びの中に、私は、神様は誠に生きていらっしやるということ、また御計画は一分のすきもなく遂行されつつあるということ、また、神様はこんな私でも愛して下さっているということ、我々の成長のおそいのを、じつと忍耐されていらっしやるということを、見いだすことができ、また証することができ、です。むしろ、あなたがたを召して下さった聖なるかたにならって、あなたがた自身も、あらゆる行いにおいて聖なる者となりなさい。(ペテロ第一の手紙一・十五)

これらすべてを御子イエス・キリストの御名により証いたします。アーメン。  
 経歴 一九五六年七月バプテスマ

MIA 書記

日曜学校書記

日曜学校教師(四年ぐらになり  
 ますので非常に興味があります)

MIA (YW) 第二副会長

宮下 幸子

(群馬支部)

兄弟姉妹今日は。私は地方部宣教師に召され、神様の僕として、働らく機会

がありますので大変感謝しています。教会に来るきっかけからお話しします。私と友人は家の近くに教会があることを知り、いつか行きたいと思っていました。今から四年半前のある日、友人と私は好奇心と恐しさを含めた気持ちで生まれて初めて教会に行きました。教会へ行く道すがら行ったり来たり、困惑しながら、教会の戸をノックしたわけです。それから数カ月後私と友達は家庭集會を受けるようになりまし。しかし若いために思慮深さにかつ福音の理解力と知識がなかったために福音の重要性を知ることが出来ませんでした。そのため家庭集會をして下さった宣教師の心を知らず、イエス・キリストの愛を知らずに家庭集會を断わってしまいました。そのとき宣教師は教会の庭を歩き回りながら考え泣いていた様子でした。私はその宣教師の美しい行為と姿をはっきり思い出すことが出



来ます。このようなわけで私は大きな誤ちをしてしまいました。それからいろいろないきさつから一年後私と友達は再び

家庭集會を受けるようになり、バプテスマを受けたのです。バプテスマを受けた後、いつも信仰を維持するための一つの助けは、兄弟姉妹の親切と愛でした。このような状態で、段々信仰が育てられたのです。そしてつい四カ月前に地方部宣教師としての責任をいただきました。現在求道者が皆良く福音を理解して下さるので、何の抵抗もなく家庭集會を進めることが出来ます。この数カ月前経験した中での一番の祝福は会に豊かな、柔和な心がお互いに通じ合うことが出来、一層強く神様の愛を感じることが出来ました。またいつも大いなる方である神様が力強い言葉で助けて下さることを深く感謝しています。神の戒めを守る人は、神におり、神もまたその人にいます。そして、神がわたしたちのうちにいますことは、神がわたしたちに賜わった御霊によつて知るのである。ヨハネの第一の手紙三・二四、と書かれてあるように、神様の誠めを柔和な清らかな気持ちで守ったならば神の前に帰ることが出来ると信じています。

神様は地球を創造し、私たちをこの地球におくりました。そして肉体を受け、誠めを守るように計画なさいました。

アダムが墮落したのは人類を生じるためであり、人類が現世にあるのは幸福を得んがためであると書かれています。私は生命をもってこの世に誕生した以上、自己の義務と責任とに全力をつくして最

大限に生活し、皆様と共に幸福を得たいと望んでいます。神様は私たちの霊の父であり、私たちの霊を育てて下さる方であり、イエス・キリストは神様の子供であり、私たちの救い主であり、贖い主であることを証します。私はキリストの愛が偉大なものであることと隣人愛というものがどんなに貴重なもので尊いものであるかをいつも学びます。神様がたしかに生きていらっしやり、聖典を読み思慮深く考え、祈るとき、必ずそこには神様の御霊があることを感じます。この末日聖徒イエス・キリスト教会はジョセフ・スミスにより回復された真の教会であることを証します。

小林 清恵

(群馬支部)



兄弟姉妹初めてお目にかかります。私は、群馬支部において、地方部宣教師として働く機会がありますので大変感謝しています。早いもので、宣教師に召され

て四ヶ月になろうとしています。私がこの教会を知った中学三年のとき、親切に教え導いて下さった宣教師の方々に心から感謝すると共に、今度は、逆の立場にたつて働くことが出来ますので重ねて感謝しています。会員になって月日のたつのは早いもので、年数だけは長いのですが、信仰のあまり強くなかった私に、支部長さんは、貴女にとって良い機会が与えられたのですから、地方部宣教師になることを強く望んでいとおっしゃいました。私はそのとき、自分の信仰の弱いためにその責任を果たす自信がなく思い悩んでいましたが、兄弟姉妹の親切なそして力強い励ましと、そしてまたすばらしい聖句によって、それは、モルモン経の中に「私は主が命じたもうことを行って行く。私は、主が命じたもうことには人がそれを為しとげるために前以てある方法が備えてあり、それでなくては、主は何の命令も人に下したまわれないことを承知しているからである」この聖句は私にとつて、ほんとうに力強く励ましてくれました。地方部宣教師になった現在、兄弟姉妹の暖かい愛に励まされながら、良い求道者にめぐまれて、福音を宣伝することの喜びと、福音を宣伝えることによつて、自分自身が一步一歩成長する二重の喜びを受けています。私の考え求めることは常に聖典の中より与えられています。教義と聖約の中でこのように仰っています。「神の栄光をまごころもて仰

ぎみて、信仰、希望、慈悲、仁愛の徳を有つ者は、神の業に仕うる資格あり。信仰、徳行、知識、節制、忍耐、兄弟の親切、敬虔、慈悲、謙遜、勤勉などの諸徳を忘るることなかれ。求めよ、さらば与えられ、叩けよ、さらば開かるることを得ん」私はこの伝道に召された一年半を、しんに神を求めている人々に全力をつくして福音を宣伝えたいと願っています。私たちが真の福音を宣伝えるとき、私たちが常に謙遜さと愛を持って接しなければ必ずや、わかってもらえることを確信しています。私は神様が確かに生きていらつしやり、末日聖徒イエス・キリスト教会はジョセフ・スミスによつて回復された唯一の真の教会であることを証します。ねがわくは、多くの兄弟姉妹が伝道の機会を与えられますように祈りつつ筆を置きたいと思ひます。

## 土橋 節子

(甲府支部)



神の恵みは本当に大きなはずなのに自

分の高慢さがその何分の一も知り得ないことを本当に恥ずかしく思ひます。でも、日々の生活の中で神への感謝をいつも心の中に覚えることの出来る私たちがモルモンを本当に幸せだと思つています。地方部宣教師として召されてから二月あまり、私自身本当にいろいろ学び勉強出来ますことを心から感謝しています。初めて行った家庭集会で私は、このような召しにあずかったことが恐ろしく、逃げ出したような気持ちにさせられました。なぜなら、その姉妹は家庭集会に於て、何も信じる事が出来ず、理解してもらえず、却つて教会から離れていつてしまったからです。もし、教会に於て、もっと知識があり、愛、信仰の強い人がこの姉妹に教会の説明を行なったとしたら、この姉妹は信じる事が出来たのではないだろうか、などと考えるとやり場のない焦燥感に駆られました。家庭集会を、これからのようにしていったら良いのか、信仰が強くなるまで私はこの責任を辞退しなければいけないのでは、などと信仰の弱い私は恥かしいことに逃げ出すことを考えていました。そんな折、また、新しい姉妹と家庭集会を行なう機会に恵まれました。私自身、少々逃げ腰でありましたから、本当にどうしようかと考え、悩みました。祈ろう、一生懸命、ただ祈ってみよう、そんな思ひで、家庭集会の日まで一生懸命神に祈りました。そしてその家庭集会に於て私

は、本当に神の愛、聖霊の導きが、どんなに大きく、偉大なものであるが、確かに心で感じ取ることが出来ました。そしてまた、私自身、ほんやりとしか理解していなかった前世に於ける霊の状態、英智の差というものを、この二つの家庭集会を通じ、本当に強い証詞として確信することが出来ました。また、その会に於て、本当に信仰の弱い私を、神がどんなにか大きな力で助けてくださったので、心からうれしく感じました。

私はこの頃、小さいときからの自分を考えてみず。そんなとき、いつも自分の回りに本当に心から私のことを心配してくれ、また、いつも力を与えてくれた多くのすばらしい人々を思い浮かべることが出来ます。ただ漠然としか考えていなかった自分のまわりの人々が、神の大きな恵みの中に私に与えられていたんだと心から信じ感謝しています。なぜなら、その人たちは宗教は持つていなかったけれど、本当に大きな愛を私に与えてくださったからです。まだまだ私の心の中には、神への感謝が一杯あります。なのに何故、自分の心の中にもっともっと強い証詞として生まれてこないのか考えるとき、本当に残念に思ひます。でも私は、自分自身、背伸びをせずに、心からの証詞を神を知らない人々に宣べ伝え、この召しの中に精一杯努力していきたいと思つています。神は確かに生きていらつしやり、ジョセフ・スミスは確かに神

と御子をご覧になりました。また、四大聖典は、聖霊に充たされた、真実神の御言葉であることを心より証詞し、すべてをイエス・キリストの御名により申し上げます。アーメン

## 海野 久子

(甲府支部)



私がこの教会に導かれたのは、子供の頃からのキリスト教に対するあこがれが尾をひいていたことは確かです。三年程前、私はそのあこがれを捨て切れずに、私の勤めている会社の人の紹介で、あるプロテスタントの教会に行ってみました。しかし何かしっくりとせず、二三次度行っただけでやめてしまいました。その後半年程して、やはり会社の中で聖書を勉強している人を見つけました。彼女はモルモンでした。その頃の私は、このような教会のあることを全然知りませんでしたので、一度彼女に連れて来て頂いたのが、この教会への第一歩でした。バ

プテスマを受けて後、様々な問題のために何回か遠ざかったり、またもどったりしましたが、兄弟姉妹の愛ある助けによって曲りなりにも信仰の生活が続けられることを感謝しています。

私は四人兄弟の末っ子として育ちました。末っ子の類に洩れず甘ったれで弱虫です。何か問題にぶつかったとき、自分自身で考え、解決して行く強さがありません。何かひとつ悩みごとがあると、他の何事もする気がせず、だからと毎日をすごしてしまうことが沢山あります。

今年の八月末から地方部宣教師の任を頂いておりますが、この仕事を頂いて間もなくのことでした。私にとっては初めての全く新しい求道者が与えられました。家庭集会にも全く不慣れでしたが、レッスンプランも初めて覚えるのですから一生懸命でした。しかし家庭集会に入ってみると彼女はとても頑固でした。話がすぐに逸れてしまっても少しも進みません。そのうちにやっと彼女は全然神を信じていないことが判りました。このレッスンは終わってからの私は、がっくりしてしまっただけで頭痛までおこる始末でした。

また、それと同じ頃、以前に家庭集会を総て受けた後教会から遠ざかっている兄弟から、この教会に対する非難を記載しているある書物を見せられました。それについて同僚と共に彼と話し合いましたが、彼もやはり頑固であった上に、私もまだまだ不勉強でしたのではつきりし

た解決を与えることができませんでした。

この二つの問題は私にとっては大きな衝撃でした。イエス・キリストが言われたように、まかれた種は私共の知らないうちに育って行くのであるなら、彼等の中で良く育って何時の日か実を結ぶようにお祈りしようと思いつつも、その後の私の心の中にはもやもやとしたものが残りました。私の証はまだまだ小さく、彼等の言葉が頭の中に残っていて私をゆさぶりました。そんな中で苦しんでいるとき、悪いときには悪いことが重なるもので、その頃知人から持ち込まれた縁談を断わってしまったがために、何時も帰りの遅い私をあまり良く思っていない家族からは非難ごうごう。

このとき、私のもろさが現われてしまいました。会社の仕事がきつくなってきたこと、風邪のために体の具合が悪かったこと等が加わって、会社の仕事にも、宣教師の仕事にも意欲を失いかげ靈的な生活から遠ざかって行きました。そしてそのような生活を責める心とかち合い乍らも、どちらとも進み方を見い出すことができず何日か過しました。

しかしあるとき、神様から権能を頂いた方々から、宣教師という特別な仕事に聖任されたときの感激を思い出すことができました。そして、どんな問題にもうち勝つことのできる証を得るために、宣教師の仕事を全うするために、もっ

深い勉強をすべきだと思いついたとき、大きな勇気が湧いてきました。

今もそのとき思いついた通りの勉強はできていませんが、毎日の生活の中では人の小さなことに神様への感謝の気持ちが湧いて胸の熱くなるのを覚えます。

私のぶつかったこの問題は、私にとっては大きな試練だったと思います。一度それに負けそうになり乍らもどうにかうち勝ったとき、神様は様々な導きを与えて下さり、小さかった私の証も徐々に確固としたものに近づきつつあることを感じる時、感謝の念でいっぱいです。

(12頁に続く)



(10月22日 東京北支部)

## 当教会大阪万国博に申込む



十一月十日小松伝道部長は西銀座にある日本万国博覧会協会事務所を訪れ、協会次長の宮野利夫氏と渉外役今井衷氏に面会し、同時に教会として出展を申込みました。前にも教会口答で連絡はしてありましたが、教会としての希望敷地を、第一順位から五カ所を正式に申込み、当教会の概要を説明しました。その後協会誌の各新聞社の記者と会談しましたが、教会に対する種々な質問を受けたところ、協会の宮野利夫次長今井氏が先に説明を受けられた内容の一部を記者に説明して下さる一幕もありました。その後持参した「ニューヨーク博」の映画を上映しましたが、沢山の方が感心されながら観賞されました。次に朝日新聞十一日夕刊に掲載された記事を紹介します。

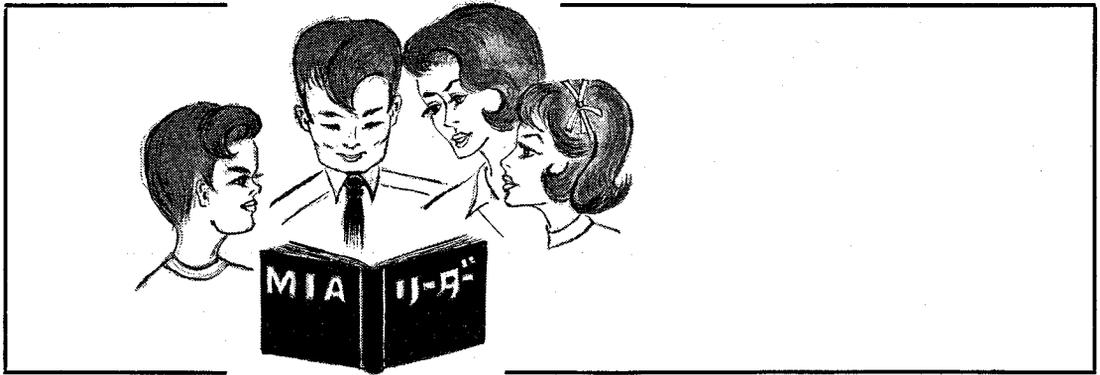
### モルモン教申込む

万国博への出展

宗教法八末目(まつじつ)イエス・キリスト教会(通称モルモン教)北部極東本部・東京港区兩麻布五)は十日、東京・西銀座の日本万国博覧会東京事務所に、同博への出展を申し込んだ。

同教会は八百平方呎の敷地に、三千六百万円から七千二百万円の費用で、高さ十五呎から十八呎の塔のある教会堂形式のモルモン館(仮称)を建設し、映画や音楽で「幸福についてのご案内」をする計画。これで国内から出展申込をした企業・団体は三十一となった。





## ユース・コンファレンス 佐藤 裏二

親愛なる兄弟、姉妹の皆さま今日は、学生生活を送られている若い人たち、あるいはすでに社会に出て立派に働らいておられる方々、また家事を手伝っている人々と教会に集う兄弟、姉妹たちはそれぞれの環境にあっても日々を一つの目標に向かって過されていることと思います。

今夏七月二十八日、二十九日の両日に行なわれた「MIA全国スポーツ大会」の経験と意義を十分に生かし、一九六八年八月初旬（一日、二日、三日、四日の予定）にユース・コンファレンスを開催することに決定致しました。

開催地についてはいろいろと論議され、検討されましたが結局、東京地区に決定しました。

開催日も各地方部長の意見も含めて検討した結果、八月初旬に致しました。現在の予定では小松伝道部長と新しい伝道部長の出席も予定されています。また、教会本部からの幹部の訪日も予定されており、客員として韓国伝道部や南部極東伝道部から多数の選手の参加も予想され、国際色豊かな華々しい大会になることと思います。

プログラムの内容や段どりも会場の都合でまだ流動状態にあります。骨子は次の通りであります。

### 一、歓迎会

二、地方部対抗卓球リーグ戦

### 三、文化的活動

スピーチ、音楽、ドラマ等を地方部に割り当てる予定です。

### 四、レクリエーション

フォークダンスとソーシャルダンスを予め統一しておき、全員で踊ったり、競演したりします。

### 五、霊的活動

証詞会や特別の霊的な集会を持ちます。

### 六、国際選手権卓球大会（予定）

日本の最優秀選手と訪日選手とで選手権を競う。

### 七、親睦を深める集まり

その他、各地から参加する兄弟、姉妹がお互いに知り合い、親しくなるための特別の会を持ちます。

これらのプログラムを本当に内容の充実した立派なものにするために次の責任と協力を皆さまにお願いします。

### チャレンジ

#### 一、会員の参加

ユース・コンファレンスに参加出来る人たちは十四才から二十九才までのMIAの会員と支部、地方部、伝道部のMIA役員、また参加者を引卒した

り、監督する責任者に限りませんが、年令的に資格のない兄弟、姉妹でも選手にはなれなくとも責任者、指導者として参加が出来ますから大いに頑張ってください。

#### 二、自主運営

ユース・コンファレンス開催のために要する一切の費用はすべてこの大会を支援する人々、参加する人たちの尊い基金（寄附金）によって運営されます。

また兄弟愛を深める一助として遠方からはるばる参加する兄弟、姉妹、お友だちの交通費の一部を負担し合うことにしました。伝道部長、全地方部長、伝道部補助組織の各会長と相談の結果、壹千五百円と致しました。（用紙の見本を御参照下さい）近日中に配布致しますが、すべて支部長、地方部長を経由して伝道部へ送られます。京浜地区に在住の参加予定者が近県に在住して交通費の補助を受けなくとも済む人たちの場合は一族で一口の寄附金だけでよく、あとは申込用紙だけを個人個人で記入し、一まとめにして（ホッチキスでもとめて）支部長に提出して下さい。交通費の補助額は会場費、印刷費、通信費、一般消耗費等の支出額や参加人数によっても異なりますが、予定としては参加者の住む最寄り国鉄駅から東京都区内までの二等交通費（往復）実費の二割から五割の間にしなさいと考えております。（詳細

# ユース・コンファレンス参加申込用紙

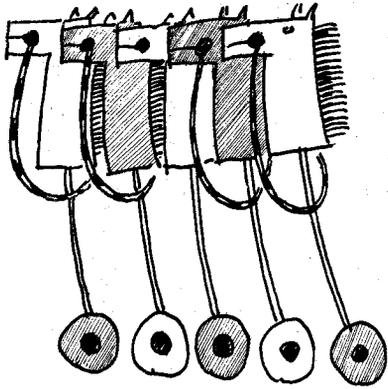
昭和 年 月 日 現在

|                                                                                                               |               |           |            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------|------------|
| 写<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>真<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>貼付出来る方は貼付<br>して下さい。 | 地方部           |           | 支部         |
|                                                                                                               | ふりがな<br>氏名    |           | 男女         |
|                                                                                                               | 年 月 日 生 (満 才) |           | 印          |
|                                                                                                               | 得意学科名         | 特殊技能      | 趣味・運動競技    |
| バプテスマ年月日                                                                                                      |               | 現在の教会の責任  | 神権の職       |
| 職 業 (職務内容も書いて下さい)                                                                                             |               | 学校名または勤務先 |            |
| 本人現住所<br>又は連絡先                                                                                                |               |           | TEL<br>( ) |
| 家族現住所                                                                                                         |               |           | TEL<br>( ) |
| 家族状況 (差し支えない程度に詳しく書いて下さい)                                                                                     |               |           |            |
| 私はユース・コンファレンスの費用の一部を負担致したいと思っておりますので<br>参加申込用紙に金 1,500 円を添えて寄附致します。                                           |               |           |            |
| 地方部長署名                                                                                                        |               | 支部長署名     |            |
| 末日聖徒イエス・キリスト教会 北部極東伝道部<br>伝道部長会・伝道部M I A会長会                                                                   |               |           |            |

### 三、組織への参加

は後日発表します。  
ユース・コンファレンスを成功させるには質的にも水準の高い内容を持ったプログラムを作成せねばなりません。そのために各地方部長会、支部長会、地方部MIA会長会、支部MIA会長会およびすべてのMIA会員の協力と援助を必要としております。伝道部長会、伝道部MIA会長会を頂点にそれぞれ責任を分担し、能率的な活動をすべく企画を進めておりますので責任が与えられましたら秩序ある積極的な参加をお願い致します。また、皆さま方の素晴らしい考えや提案がありましたらMIA事務局までどしどし御意見を寄せ下さい。  
皆さま方一人、一人の上に主の御導きと御恵みが豊かに宿り、正しい信仰生活を送り、他の人たちの模範となれますよう心から深く御祈り申し上げます。

(YM管理会長)



## ミューチュアル・ス タディーに就て!!

島田 邦男

その後、各支部に於いていかに行なわれているか、いささか気になりますので一筆執りました。

昨年度(一九六六年九月から六七年の八月まで)初めて当伝道部において、ミューチュアル・スタディーなるものが開かれました。

始めるに当り、その目的とか組織とか内容等簡単に書いて、聖徒の道に載せましたが、テキストもなく、手引もなく、実際なことをやって良いのやらわからず、最初のうちは系図でもやろうかと言うことと始めました。

初めの頃は、何んとかぼつぼつやっていたようでありますが、そのうち自然消滅と言ったような形になり、どの支部も最後までやったところはなかったように記憶しています。

これでは、いかんと言うことで、今度はいささか詳しく、実際の開き方等を書いてまた聖徒の道へ載せました。

そして今年度からは、最初からミューチュアル・スタディーらしいことをしようと言うことで始め、最後まで立派にもって行けるように期待していました。今年度も早や三ヶ月が過ぎてしまいました。

私が所属する東京北支部におきましては、当初二十人近くの会員が集まっていたのですが、最近少し減り始めましたので、来年の八月までもつかどうか心配しています。

テキストもなく、手引きもない、何をやって良いと言う、一見やさしそうだが、仲々大変である。

教会で福音を教えるのはやさしいですが、しかし年令がばらばら、知識程度もばらばら、こう言う人たちを集めて、勉強しようと言うのは、非常に難しい。

当然一人の先生で、一年間も教えることができないので、何人かの先生でやらなければならぬ。

大学で数学や物理の難かしい公式を学ぶように、皆んなが、ついてこれないのでは何んにもならない。

いわゆる私達の生活の知恵になるようなことを教えなければならぬ。

生活に何か役立つこと、実生活に結びついた教えをせねばならないところに難かしさがある。

幸い北支部には東京天文台に務めている高橋実兄弟に、天体のこと、その他色々面白く、レッスンしてもらった。

また文学に興味を持っていて、扶助協会の文学の教師をしている、塚原則子姉妹から日本の古典に就て学んだ。

わずか三ヶ月の期間ではあったが、天文学のこと、古典のこと、無に等しかった知識に少しでも、プラスされたことを

感謝している。

こういう機会を通してまだまだ沢山のことを学びたい、これが現在の僕の心境です。

こう言う会を集う人が少なくなったからと言うことで、つぶしてしまいたくないものです。

支部責任者、クラス教師、クラス議長書記、そしてミューチュアル・スタディーコミッティー、これらの方々为本当に仲良く、協力し合い、助け合って、少なくとも来年の八月までは立派に続けて行ってもらいたいものです。

一年間、立派に行うことができれば、次の一年間は割と楽にできるものと思われまます。

そのうちに、テキストなり、手引なりを作って行きますが、それまでの間は、聖徒の道の去年の七月号(二十二頁)及び今年の四月号(十九頁)を良く読んでやって頂きたいです。そして色々な御意見を聞かせ願いたい。

左記に住所を記しますが、必ず地方部MIAの役員を通して下さい。  
皆様の上に神の祝福があるように祈ります。

連絡先

埼玉県所沢市大字所沢二三八七ノ三四

島田 邦男

(伝道部MIA副会長)

# 私の抱負

島田 多津子

愛する兄弟姉妹の皆さん初めまして島田姉妹です。

この度、伝道部M I Aの書記に任命され心から感謝しております。

今年度の合言葉である「M I Aで逢いましよう」皆様御存知ですか？

M I Aとは老若男女をとわず、すべての人々が集い、いかに目的に添った活動をし、そして自分自身の証詞を得るためにもっとも必要とされる会だと、私自身心に決めていきます。

初めてM I Aに集ったのは四年ぐらい前の丁度クリスマスパーティーのときでした。

楽しかった演劇、ダンス、コーラス、本当に楽しい一時でした。

その後M I Aに集うようになりまし

た。少しも踊ることができなかったダンスも段々と上達しました。

またファイアサイドの会に集い、若い男女の交際等、いろいろの問題が活発な会員たちによって討論されたのを思い浮かべることが出来ます。

私もM I Aの会に集うことにより、すばらしい兄弟と知り合うことができ、結ばれました。

このようにM I Aにおいて多くのロマ

ンスの花が咲いた例が数知れずあることと思えます。

M I Aは美しい心を持つものが互いに集い、友情を深めそして愛を育てる一つのすばらしい集いでもあるのです。

毎週木曜日の来るのが本当に楽しみであります。

私の出席している東京北支部におきまして今年から、ミューチュアルスタディという会を始めました。



その会においては非常に兄弟姉妹が大勢出席して下さり、私も会の役員をさせて頂いておりましたが、本当に楽しいクラスです。

書記と言う仕事は以前にも支部の日曜学校において責任をいただいたことがありますが大変な仕事でした。

しかし以前からM I Aにおいて、何か役に立つことがあれば、して上げたい気持ちがいっぱいだったので、この度の責任にも気持良く喜んで引き受けることができました。

しかしまた、その責任の重要性を痛感しております。

日本の伝道部においてM I Aがもっともっと進歩発展するよう心から祈っております。

ハワイの神殿訪問のとき、あちらのM I Aに出席しました。

そのとき、非常に大勢のお年よりの方々が出席されているので、少し驚きました。

今まで私自身、M I Aは若い男女が集う会だと思っておりましたが、このときそうではない、老若男女の集まる会であるとそう思いました。

たとえ自分にとって少しも進歩しない会であると思っても、すなおに役員の指示に従い、自分から進んでその会を楽しいものにする必要があることだと思います。

またこのように心掛けたいものだと自分自身に言い聞かせています。

神様の御計画にはどれも私たちが進歩発展するように組まれたものばかりです。

讚美歌の中に、

シオンのわかもの、M I AよM I A

来たれや真理に、M I AよM I A

みめぐみあふれる、M I AよM I A

勇みて働らん、M I AよM I A

自由と勇氣に、M I AよM I A

忠実をほこりに、M I AよM I A

われら呼ぶ声に、つづけて集らん  
み神の笑みたまう、M I AよM I A  
この讚美歌を歌うとき、私は力づけられ、M I Aには必ず出席しようという気持ちかられます。

またあと数日で、あの楽しいクリスマスパーティーの来るのを思い浮べるとき、私の心はまるで子供のようになり、はしやきまわっているのです。

では皆さん「M I Aで逢いましよう」皆様の上に神様の恵みと祝福があることを心からお祈りいたします。

(伝道部M I A書記)

## お知らせ

伝道部Y W M I A会長会は

左記のように新しく組織さ

れました。

会長 佐藤 栄子

第一副会長 塚田 恵子

第二副会長 稲垣 聖子

書記 島田 多津子

# 図書案内

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>教義と聖約<br/>高価なる真珠……………上質革製合本<br/>モルモン経……………一〇〇円</p> <p>教義と聖約<br/>高価なる真珠……………合本……………三〇〇円</p> <p>モルモン経(新約)……………一八〇円</p> <p>信仰箇条の研究……………三三〇円</p> <p>基督・イエス……………三〇〇円</p> <p>末日聖徒イエス・キリスト教会略史……………一一〇円</p> <p>モルモンとは(新版)……………一五〇円</p> <p>総合聖句の手引……………一五〇円</p> <p>メルケゼデク神権、教師と生徒用<br/>神権とあなた……………四五〇円</p> <p>私たちの生きた福音……………二五〇円</p> <p>神の王国……………二三〇円</p> <p>アロン神権者用学科課程……………一五〇円</p> <p>アロン神権のなかの祭司……………一八五円</p> <p>回復された神の教会……………一〇〇円</p> <p>神と人……………二〇〇円</p> <p>家庭に於ける神権の発揚……………一五〇円</p> <p>モルモン経の新研究……………三三〇円</p> <p>日本系図探求要覧……………一一五円</p> <p>扶助協会手引……………一五〇円</p> <p>求道者教育法……………一六〇円</p> <p>モルモン物語……………一、〇〇〇円</p> | <p style="text-align: center;">日曜学校用</p> <p>モルモン経物語……………一五〇円</p> <p>旧約聖書物語……………一五〇円</p> <p>福音の実践……………二〇〇円</p> <p>我等の標準聖典……………二〇〇円</p> <p>古代の使徒……………一五〇円</p> <p>教義と聖約の教え……………二〇〇円</p> <p>福音の紹介……………一七〇円</p> <p>完成への道……………一〇〇円</p> <p>宗教と生活……………一五〇円</p> <p>奇しきみわざ(合本)<br/>〃(下)……………一七〇円</p> <p>家督権の祝福……………一〇〇円</p> <p>家族の昇栄……………二〇〇円</p> <p>シオン山の救い手たち……………二〇〇円</p> <p>レッスンの手引……………六〇円</p> <p style="text-align: center;">M I A 用</p> <p>M I A の手引……………二〇〇円</p> <p>我らは信じる……………二〇〇円</p> <p>我らは生きる……………二〇〇円</p> <p>我らは奉仕する……………一五〇円</p> <p>よりよいあなた……………一七〇円</p> <p>生活の目標……………一五〇円</p> <p>今日の十誡……………二五〇円</p> | <p>エンサインローレルの手引……………一五〇円</p> <p>演説が上手になる法……………一五〇円</p> <p style="text-align: center;">ロールブック</p> <p>M I A……………一〇〇円</p> <p>扶助協会……………一〇〇円</p> <p style="text-align: center;">讃美歌及び歌集</p> <p>末日聖徒讃美歌集(新版)……………四〇〇円</p> <p>〃(小)……………三〇〇円</p> <p>リクリエーション歌集……………四〇〇円</p> <p style="text-align: center;">その他ブックカバーなど</p> <p>モルモン経カバー……………二〇〇円</p> <p>教義と聖約カバー……………二〇〇円</p> <p>信仰箇条の研究用カバー……………二〇〇円</p> <p>聖餐カップ(一箱)……………二五〇円</p> <p>ブレットトレイ(プラスチック)……………一、〇八〇円</p> <p>ウォータートレイ(プラスチック)……………一、五二〇円</p> <p>L D S ペン……………一〇〇円</p> <p>モルモンバッヂ……………一五〇円</p> <p>テンプルバインダー(二六穴)……………三〇〇円</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

図書の購入は支部長会に申し出てください

# 聖徒の道は

私たちが真理を知る「てだて」であり

私たちの心と心がかよう道です

あなたの霊の進歩のために

あなたの信仰のかてのために

お役に立つ本であればと思います

## 支部所在地

- 北海道地方部  
旭川 旭川市8条5丁目  
M I A集会所 旭川公会堂  
電話 (0166-2-1545)
- 室蘭 室蘭市幸町89  
電話 (0143-2-7054)
- 小樽 小樽市富岡町1-35  
電話 (0134-2-8224)
- 札幌 札幌市南20条西16丁目  
電話 (0122-56-7175)
- 東中央地方部  
群馬 高崎市並榎町275  
電話 (0273-22-7121)
- 甲府 甲府市中央3丁目12-2  
電話 (0552-3-2409)
- 松本 松本市開智1-1-6  
電話 (02634-3-8093)
- 新潟 新潟市明石通3-40-1  
仙台市光禅寺通り28  
電話 (0222-25-0897)
- 東京中央 東京都港区北青山3-6-4  
電話 (03-400-3307)
- 東京北 東京都中野区江原町1-8-14  
電話 (03-953-8244)
- 東京東 東京都江戸川区西小岩5-8-6  
電話 (03-658-7310)
- 東京南 東京都大田区南千束町2-25-11  
電話 (03-729-6311)
- 東京西 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-7-7  
電話 (0422-22-6764)
- 山形 山形市七日町4-12-23  
電話 (02362-3-3380)
- 横浜 横浜市港北区篠原町29  
電話 (045-401-8772)
- 西中央地方部  
阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中1-11-8  
電話 (06-623-4315)
- 福岡 福岡市浄水町46  
電話 (092-52-8653)
- 広島 広島市高須2-7-29  
電話 (0822-71-5309)
- 金沢 金沢市兼六元町3-8  
電話 (0762-21-2131)
- 京都 京都市左京区下鴨松原町44  
電話 (075-70-4067)
- 名古屋 名古屋市昭和区北山町3-41  
電話 (052-731-4210)
- 西ノ宮 兵庫県西ノ宮市仁川町4-54  
電話 (0798-51-0141)
- 岡町 大阪府豊中市岡町北2-18  
電話 (068-52-1236)
- 岡山 岡山市学南町1-13-11  
電話 (0862-52-3560)
- 三ノ宮 神戸市灘区篠原本町4-35  
電話 (078-86-2602)
- 柳井 山口県柳井市今市391  
電話 (106 申込柳井7)
- 沖縄地方部  
普天間 沖縄宜野湾市野嵩区328  
那覇 沖縄那覇市崇元寺町1-128-20  
電話 (3-1620)
- 建築部事務所 東京都港区北青山3-6-4  
電話 (400-4080)

(誤りのある支部の支部長はご一報ください)

## 聖徒の道

一九六七年十一月二十日発行

振替口座 東京一六二二六番

発行人兼編集人 アドニー・Y・小松

発行所

東京都港区南麻布五丁目八番十  
末日聖徒イエス・キリスト教会

電話 四七三一六一三

印刷所 株式会社三五堂

定価七十円

一年予約七〇〇円(申込は支部長まで)